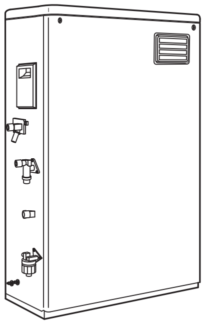
CHOFU

石油瞬間給湯器（直圧）
〔石 油 小 形 給 湯 機〕

取 扱 説 明 書



バックアップ電源ユニット接続対応
エコフィール

型名 EHIF-4765DS-1

このたびは長府製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。

●この機器は、消費生活用製品安全法の『**特定保守製品**』に指定されています。
ご使用の前に、『**所有者票**』（製品に添付）を返送していただき、**所有者登録**を行ってください。
●ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。なお、取扱説明書は工事説明書と共に必ず保管し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
●保証書はお買い求めの販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入されていることを必ず確認してください。
●取扱説明書を紛失されたときは、お買い求めの販売店、またはお近くの工場・支店・営業所にご連絡ください。
●必ず良質の灯油（JIS1号灯油）を使用してください。
●製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

10133290（DT）

もくじ

区分		項目	ページ
ご使用の前に		特に注意していただきたいこと	2
		使用するリモコンについて	8
		各部の名称	
		外観図	9
		使用前の準備	10
音声リモコン	給湯運転	各部の名称とはたらき	14
		時刻の設定	18
		給湯運転	22
		eco機能	26
		定量お知らせ機能	28
	その他の機能	リモコンの設定	
		音声ガイド音量の設定	30
		操作音量の設定	32
		表示画面省エネモードの設定	34
		表示画面明るさの設定	36
		リモコン設定の初期化	38
		チャイルドロック機能	40
		音声ガイド一覧	41
カンタンリモコン	給湯運転	各部の名称とはたらき	42
		給湯運転	44
	その他の機能	リモコンの設定	
		表示部省エネモードの設定	48
		表示部明るさの設定	50
		操作音の設定	52
		呼び出し	53
運転のしかた		バックアップ運転	54
		ピークシフト運転	55
		凍結予防	56
		安全装置	59
		その他の装置	60
		使用上の注意	61
上手に使ってね		日常の点検・手入れ	63
		定期点検	65
		法定点検	65
故障かな？		故障・異常の見分けかたと処置方法	66
		部品交換について	73
		別売部品について	73
		仕様	74
		アフターサービス	75
		据付け	76
		保証書	巻末

特に注意していただきたいこと

●ご使用の前に、この「**特に注意していただきたいこと**」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
●ここに示した事項は、危害・損害の程度によって次のように分類されます。
いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●絵表示について次のような意味があります。

区分	意味
禁止	ガソリン厳禁
禁止	接触禁止
禁止	分解禁止
禁止	一般的な禁止
注意	高温注意
注意	感電注意
注意	一般的な警告・注意
指示	電源プラグを抜くこと
指示	アースを接続すること
指示	必ず行うこと

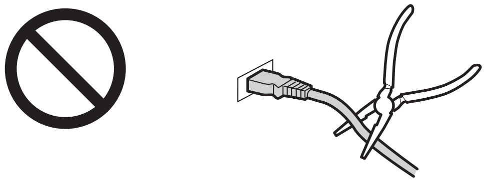
は参考になるページです。

⚠警告(WARNING)

ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。

電源コードを切断して延長しない



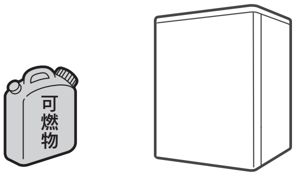
電源コードの届く範囲にコンセントがないときは、電力会社の指定工事店に依頼し、所定の電気配線をしてください。絶対に電源コードを切断して延長しないでください。火災や感電の原因になります。

注意(CAUTION)

高温注意

シャワーを使用するときや入浴するときは、必ず手でお湯の温度を確かめてください。また、シャワーを使用中は使用者以外の人がお湯の温度を変更しないでください。やけどのおそれがあります。

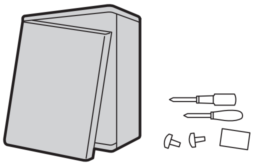
可燃物禁止



壁や周囲の可燃物から充分離して設置してください。(工事説明書参照)
機器の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。火災のおそれがあります。

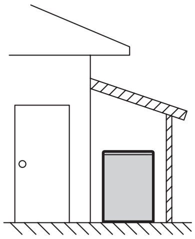
分解修理・改造の禁止

(火災・感電・漏電の原因)



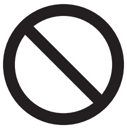
故障や破損したときは、使用しないでください。不完全な修理や改造は危険です。

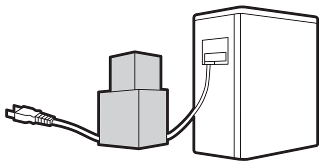
囲い禁止



機器や排気部を波板などで囲わないでください。不完全燃焼や火災の原因になります。

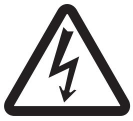
電源コードを傷めない





電源コードに無理な力を加えたり、ものを載せたりしないでください。また、電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。火災や感電の原因になります。

濡れた手危険

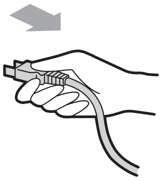


電源プラグを濡れた手で触らないでください。感電するおそれがあります。

特に注意していただきたいこと

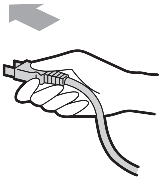
⚠注意(CAUTION)

電源プラグを抜いて停止させない



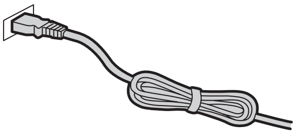
電源プラグを抜いて機器を停止させないでください。火災や故障の原因になります。
必ずリモコンの運転スイッチを押して「**切**」にして停止してください。

電源プラグは確実に差し込む



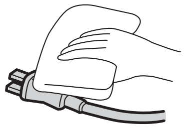
電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだプラグや緩んだコンセントは使用しないでください。
火災の原因になります。

電源コードは束ねたまま使用しない



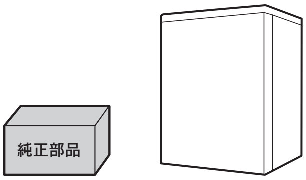
電源コードは絶対に束ねたまま使用しないでください。火災や発熱の原因になります。

電源プラグのお手入れをする



ときどきはリモコンの運転スイッチを押して「**切**」にしてから電源プラグを抜き、ほこりを除去してください。ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり火災の原因になります。

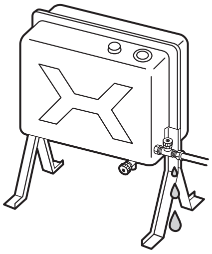
純正部品を使用する



事故防止のため必ず**当社純正部品**を使用してください。

油漏れがないことを確認する

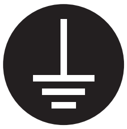
（火災の原因）

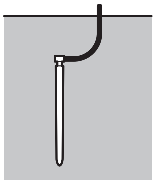


機器や油タンクの送油経路、特に接続部などに油漏れがないことを確認してください。

⚠注意(CAUTION)

必ずアースをする





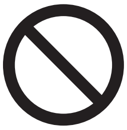
この機器はアースが必要です。アースが不完全な場合は、感電するおそれがあります。

異常・故障時使用禁止

(事故の原因)

油漏れや臭い、ススの発生など異常や故障と思われるときは、使用しないでお買い求めの販売店にご連絡ください。

家庭用以外の使用禁止



この機器は家庭用です。家庭用以外には使用しないでください。寿命が短くなったり、故障の原因になったりします。家庭用以外に使用すると保証の対象外になります。
家庭の給湯やシャワー以外の用途には使用しないでください。思わぬ事故や故障の原因になります。

安全装置が作動したときは

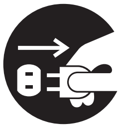
安全装置が作動したときは、この取扱説明書に従って処置をしてください。処置をしないで何度もリセットを繰り返さないでください。火災や事故の原因になります。

59 ページ

機器内のお湯を排水するときはやけどに注意

機器内のお湯を排水するときはやけどに注意してください。熱湯が排水されることがあります。運転を停止し、機器が冷えてから排水してください。

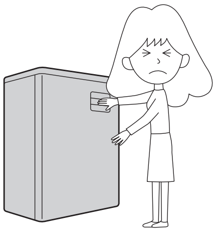
長期間使用しないときは機器内の水抜きを行い、電源プラグを抜く



長期間使用しないときは機器内の水抜きを行い、電源プラグを抜いてください。
火災や思わぬ事故の原因になります。

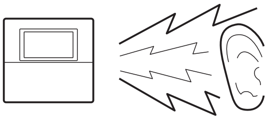
57・58ページ

高温部接触禁止



燃焼中や消火直後は、高温部(機器・排気部)に手など触れないでください。やけどのおそれがあります。

リモコンのスピーカーに耳を近づけて使用しない

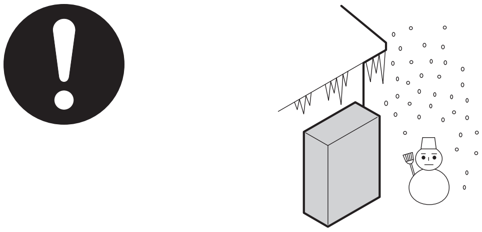


大きな音が出ることがあり、聴覚障害などを引き起こすおそれがあります。

特に注意していただきたいこと

お願い（NOTICE）

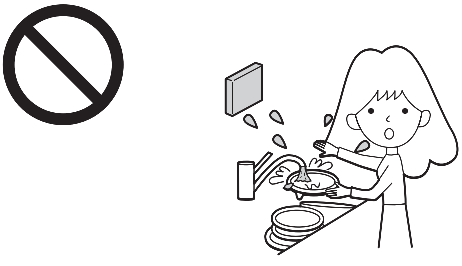
凍結に注意する
（故障の原因）



冬期には急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがありますので、凍結予防の処置を行ってください。

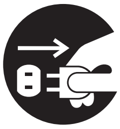
56～58ページ

リモコンに水をかけない



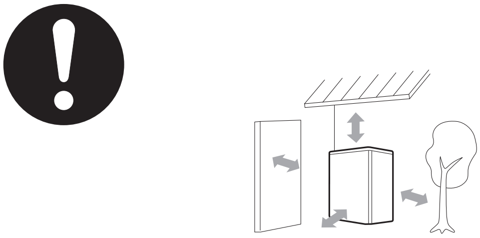
リモコンに水をかけないでください。
故障の原因になります。

落雷のおそれがあるときの処置



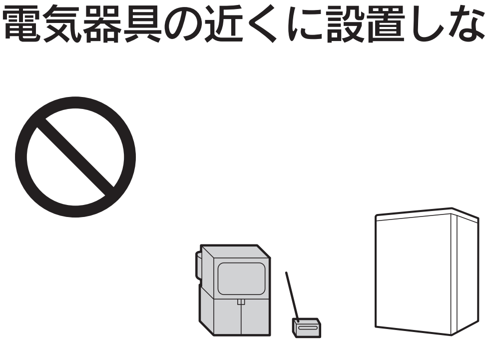
雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷することがありますので、雷が発生したときは、すみやかにリモコンの運転スイッチを押して「**切**」にしてから電源プラグをコンセントから抜いてください。雷がやんだ後は、電源プラグが濡れていないことを確認してコンセントに差し込んでください。

サービススペースの確保



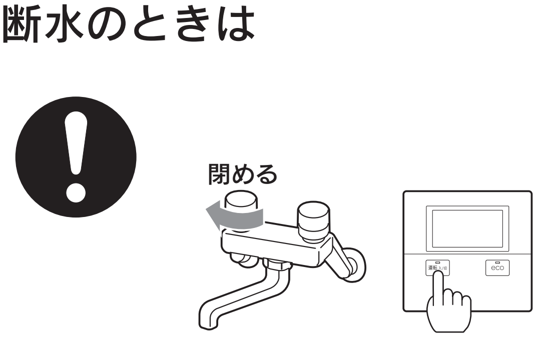
機器の周囲には点検・整備のためのサービススペースを確保してください。前パネル側は必ず60cm以上あけてください。
（工事説明書参照）

電気器具の近くに設置しない



テレビやラジオなどの近くに設置すると映像の乱れや雑音が入ることがあります。
離して設置してください。

断水のときは

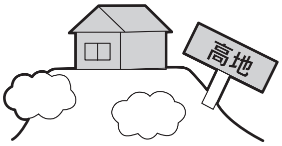


給湯栓を閉め、リモコンの運転スイッチを押して「**切**」にしてください。

お願い(NOTICE)

高地で使用するときはご相談を…

(燃焼不良の原因)



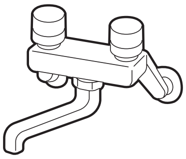
標高1,000～1,500mの高地で使用するときはお買い求めの販売店にご相談ください。

※標高1,500mを超える場所では使用できません。

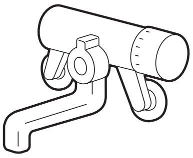
この機器は上水道用です

地下水・井戸水・温泉水を使用すると、水質によっては故障することがあります。この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

混合水栓について



混合水栓は通水抵抗の少ないもの、またシャワーヘッドは圧力損失の少ないものを使用してください。(出湯量が少なくなる可能性があります。)水圧の低い地域では泡沫水栓・浄水器を使用しないでください。



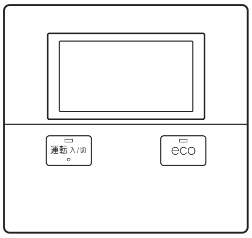
やけど防止のためサーモスタット付混合水栓(通水抵抗の少ないもの)の使用をおすすめします。リモコンの給湯温度は湯温安定のため、混合水栓の設定温度より約15℃高めにして使用してください。

使用するリモコンについて

●この機器で使用できるリモコンは、下記のものです。

音声リモコン

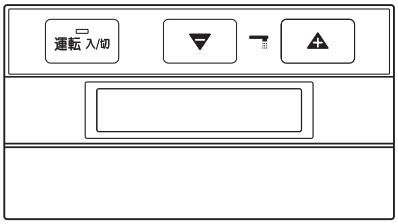
台所リモコン CMR-2707V



14～41 ページ

カンタンリモコン

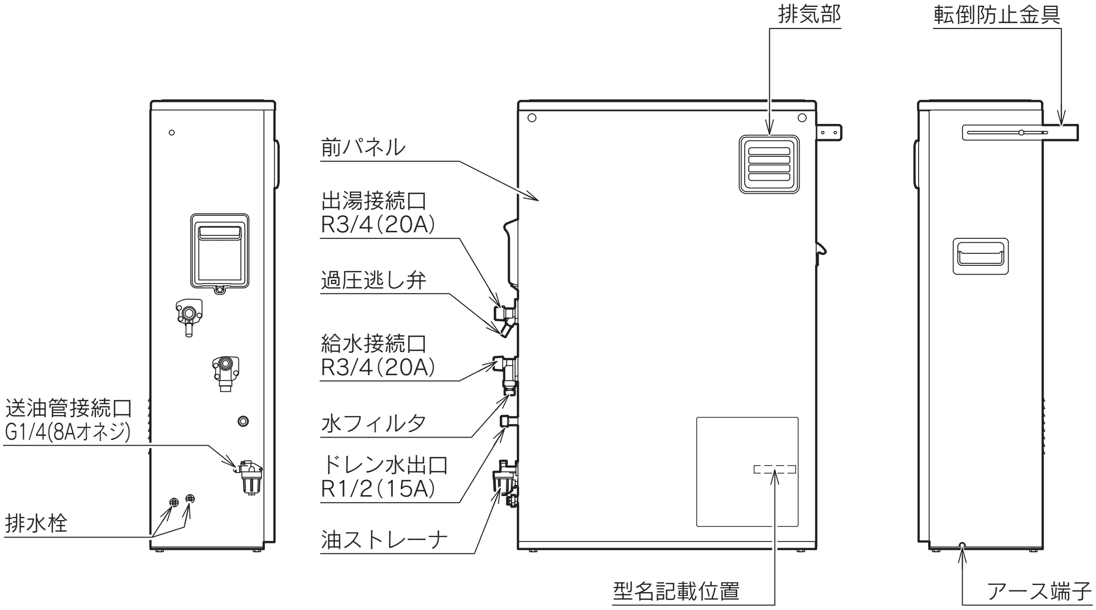
防水形増設リモコン YST-2903



42～53 ページ

各部の名称

外観図



排気部
転倒防止金具
前パネル
出湯接続口
R3/4(20A)
過圧逃し弁
給水接続口
R3/4(20A)
送油管接続口
G1/4(8Aオネジ)
水フィルタ
ドレン水出口
R1/2(15A)
排水栓
油ストレーナ
型名記載位置
アース端子

使用前の準備

燃料

⚠警告

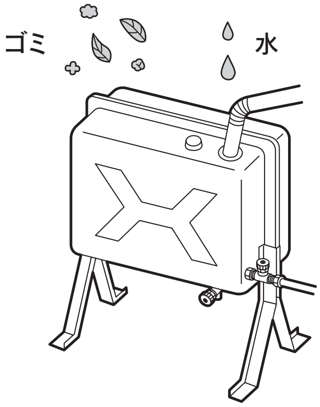
●ガソリン・ベンジン・シンナー・重油・軽油やその他のものが混入した灯油は火災や故障の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

●燃料は必ず灯油（JIS1 号灯油）を使用してください。

給油

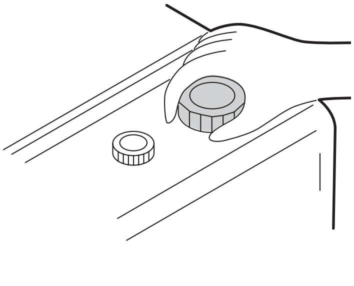
●給油は必ず消火を確かめてから行ってください。

1 給油の際の注意

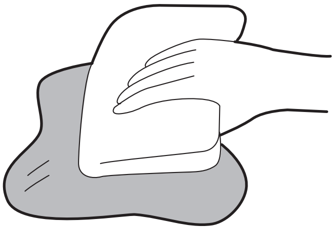


給油の際に水やゴミなどが入らないように特に注意してください。
水やゴミなどは燃焼不良やバーナーの寿命低下などの原因になります。

2 給油口ふたは確実に閉める



3 こぼれた灯油はふきとる



4 燃料切れをしたときは

⚠注意	●何度も空運転(電磁ポンプ内に灯油がない状態での運転)をすると、電磁ポンプの寿命が短くなり、性能低下の原因になります。 性能低下すると、熱交換器内に油がたまることで燃焼不良の原因になり、排気部から発煙し建物の壁などを汚すおそれがあります。

燃料切れをしたときは警報を表示してお知らせします。油タンクに灯油があることを確認後、リセットしてください。(リセットすることにより、電磁ポンプを空運転し送油経路の空気抜きを行います。)
2、3回リセットしても直らないときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。
約8回リセットを繰り返すと再点火防止機能がはたらき、リモコンでのリセットができなくなります。

■リセット(警報解除)の方法

リモコンの運転スイッチを一度押して「**切**」にしてから、再度押して「**入**」にします。

お知らせ

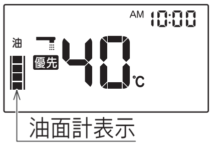
●燃料切れをしたときは、送油経路の空気が抜けるまで振動音が出たり、点火せずに警報になったりすることがありますが故障ではありません。

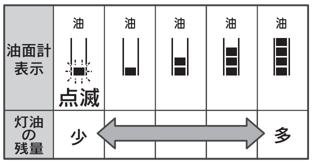
バックアップ電源ユニットに関しては、BDU-301付属の取扱説明書の「使用開始前の準備」と「操作方法」を参照してください。

油切れ予告装置(別売部品・OC-5)を取付けたとき

●台所リモコンに油面計を表示させ、油タンク内の灯油の残量を5段階で表示することができます。

台所リモコン表示画面





●灯油の残量が一番少ない表示になったときには、リモコンにエラーコード「830」を表示してお知らせします。「830」を表示しても機器はすぐに停止しません。すみやかに給油してください。
●設定は油切れ予告装置付属の説明書を参照してください。

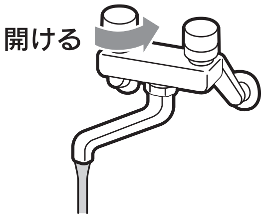
油切れ予告装置(別売部品・OC-31)を取付けたとき

●灯油がなくなる前に、リモコンにエラーコード「830」を表示してお知らせします。「830」を表示しても機器はすぐに停止しません。すみやかに給油してください。

使用前の準備

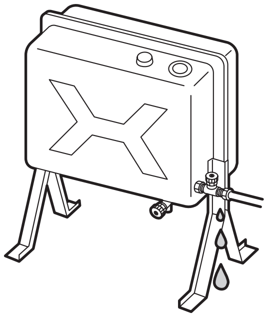
点火前の準備と確認

1 給水および水漏れの確認



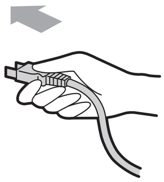
1. 給水元栓と給湯栓を開け、水が出ることを確認してください。
2. 機器や接続部から水漏れしていないことを確認してください。

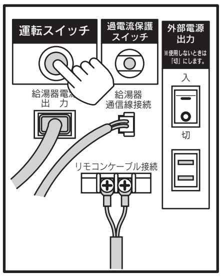
2 送油経路の点検



油タンクや送油管の接続部などから油漏れがないことを確認してください。

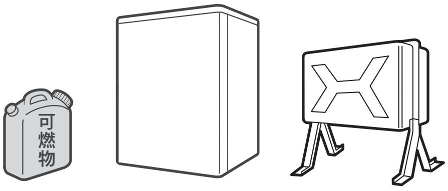
3 電源プラグの確認





バックアップ電源ユニットの電源プラグがコンセントに差し込まれていること、給湯器の電源プラグがバックアップ電源ユニットに差し込まれて、バックアップ電源ユニットの運転スイッチが「**入**」になっていることを確認してください。
（運転ランプが約５秒間点灯します。以降は約５秒ごとに点滅します。）

4 周囲の点検



機器本体・排気部・油タンクの上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。

●このページは空白です。

各部の名称とはたらき

●この機器はリモコンによって操作方法などが異なります。

台所リモコン (CMR-2707V…音声リモコン)

① 運転スイッチ（運転ランプ）

運転・停止・リセットするときに押します。
運転スイッチが「**入**」のときに点灯します。

リセット（警報解除）の方法
運転スイッチを一度押して「**切**」にしてから再度押して「**入**」にします。

② ecoスイッチ（ecoランプ）

eco運転するときに押します。
ecoスイッチが「**入**」のときに点灯します。

26・27 ページ

③ スピーカー側面

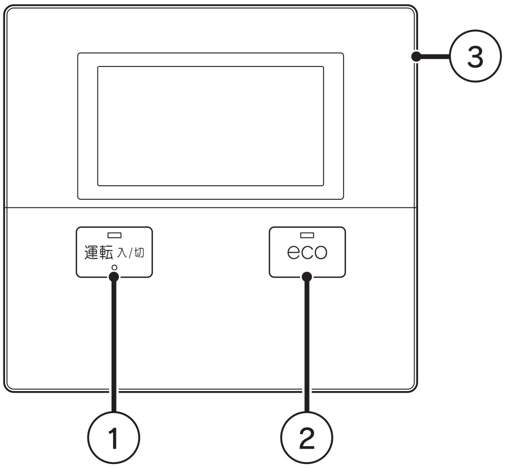
ここから音声や音が出ます。

④ 給湯温度調節スイッチ

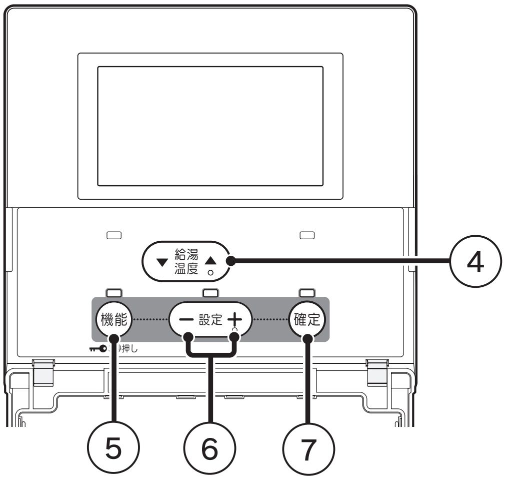
給湯温度を調節するときに押します。
「**優先**」が点灯しているときのみ給湯温度の調節ができます。

▲…温度を高くする（あつくなる）
▼…温度を低くする（ぬるくなる）

温度調節範囲
…**約32～75℃**
32℃・35℃・37～50℃（1℃ごと）・55～75℃（5℃ごと）に設定できます。



ふたを開いた状態です。



音声ガイドの種類は**41**ページを参照してください。

⑤ 機能スイッチ

現在時刻・お湯はり量などを設定するときに押します。
約3秒間押し続けると、チャイルドロックの設定／解除ができます。

17～41 ページ

⑥ 設定スイッチ

選択した機能の設定を変更するときに押します。
＋…時間や数値を増やしたり、項目を進めたりする
－…時間や数値を減らしたり、項目を戻したりする

17～39 ページ

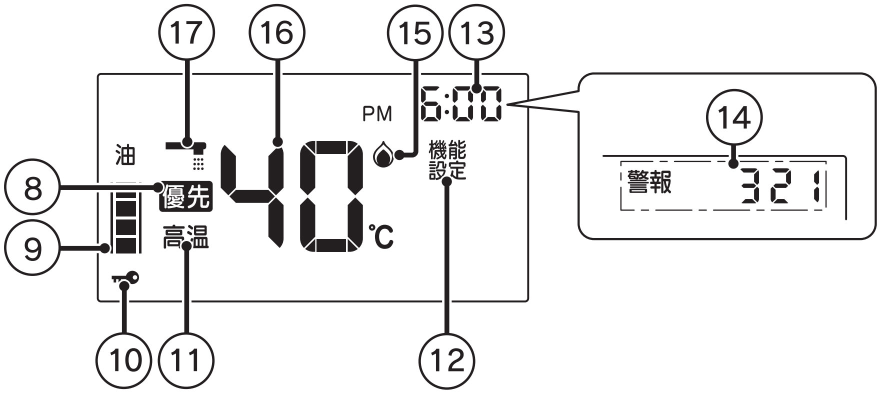
⑦ 確定スイッチ

機能設定の内容を確定するときに押します。

表示画面の特性について

●表示内容などにより明るさにムラが生じる場合があります。
●表示画面を正面以外から見ると表示色が変化して見える場合があります。
●気温が下がると表示の切換わりが遅くなる場合があります。

表示画面

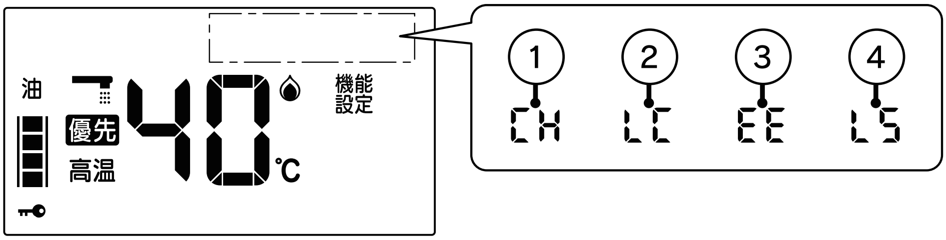


⑧ 優先表示	⑫ 機能設定表示	⑮ 燃焼表示
この表示が点灯しているときのみ給湯温度の調節ができます。 24・46ページ	機能設定中に表示します。	**点灯**…バーナーが燃焼しているときに表示します。 **点滅（警報）**…安全装置が作動し運転が停止しています。
⑨ 油面計表示（※1）	**⑬ 現在時刻表示**	**⑯ 給湯温度表示**
油タンク内の灯油の残量を表示します。 11 ページ	現在時刻を表示します。	給湯温度を表示します。
⑩ チャイルドロック表示	**⑭ エラーコード表示**	**⑰ 給湯マーク表示**
チャイルドロック状態のときに表示します。	機器に何らかの異常があるときに表示します。 69〜71ページ	常に点灯しています。 このマークの横に給湯温度を表示します。
⑪ 高温表示		
給湯温度を55℃以上に設定したときに表示します。		

表示は説明のためのもので実際とは異なります。
※1…別売の「**油切れ予告装置（OC-5）**」を取付けたときに表示します。

各部の名称とはたらき

バックアップ電源ユニット関連の表示



① バッテリー充電中表示	③ ユニット異常表示
バッテリー充電中に点滅します。	バックアップ電源ユニットが故障したときに点滅します。
② バッテリー交換表示	**④ バッテリー残量表示**
バッテリーの交換時期になると点滅します。	使用できるバッテリーの残量を6段階で表示します。(※1) バックアップ運転中に表示します。

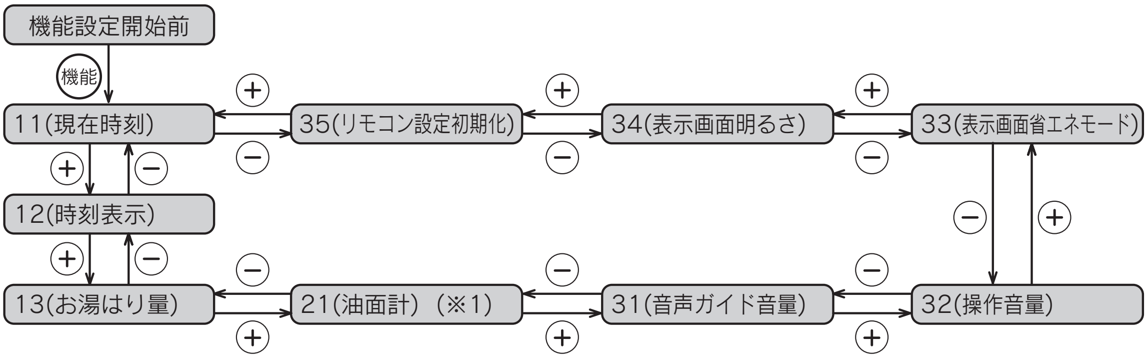
※1

バッテリー残量表示	バッテリー残量
LL 点滅	少
L1	
L2	
L3	
L4	
L5	多

表示は説明のためのもので実際とは異なります。

機能設定について

●機能スイッチ ・ 設定スイッチを操作することにより、下記の機能設定をすることができます。(機能設定の内容を数字で表示します。)



※1…別売の「**油切れ予告装置(OC-5)**」を取付けていないときは、設定を変更しないでください。
　　取付けていない状態で設定を変更すると、エラーコード「**480**」が表示されます。

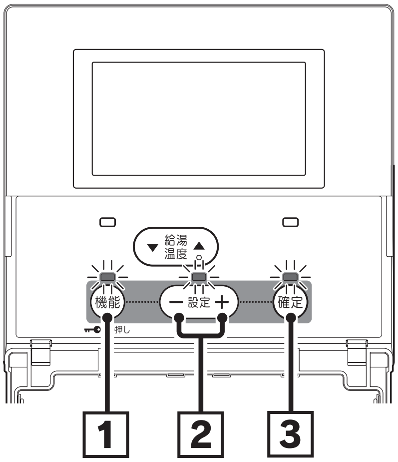
時刻の設定

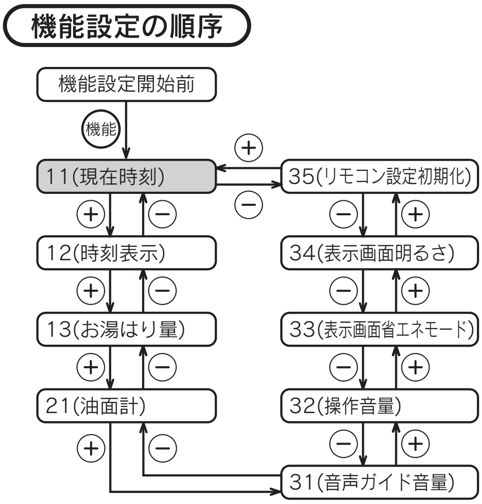
18〜41ページは音声リモコンの説明です。

現在時刻の設定

●台所リモコンで設定します。

〈台所リモコン〉

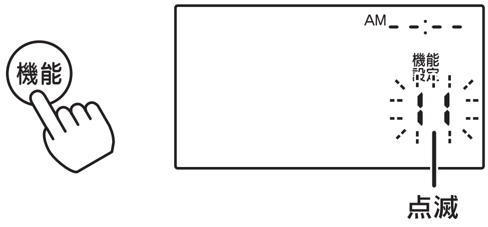




1 ふたを開く

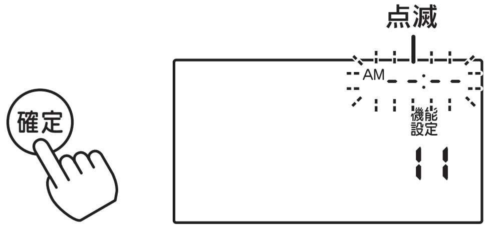
2 機能スイッチ1を押す

台所リモコン表示画面



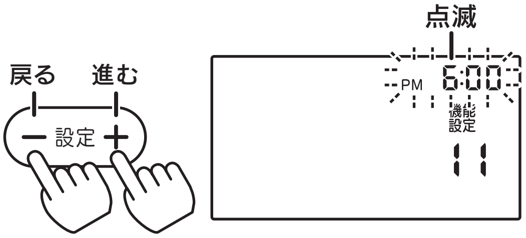
音声で「**現在時刻を設定します**」とお知らせします。

3 確定スイッチ3を押す



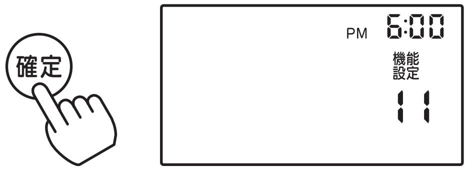
現在の設定が点滅し、音声で「**設定してください**」とお知らせします。

4 設定スイッチ[2]を押して現在時刻を設定する



設定スイッチ[2]を1回押すと1分単位、押し続けると10分単位で変わります。

5 確定スイッチ[3]を押す



設定内容が点灯し、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
続けて機能スイッチ[1]を押すと機能設定番号が点滅を始め、設定スイッチ[2]で他の機能を設定することができます。

6 ふたを閉じる

通常の表示に戻ります。
約40秒間操作しないときも通常の表示に戻ります。

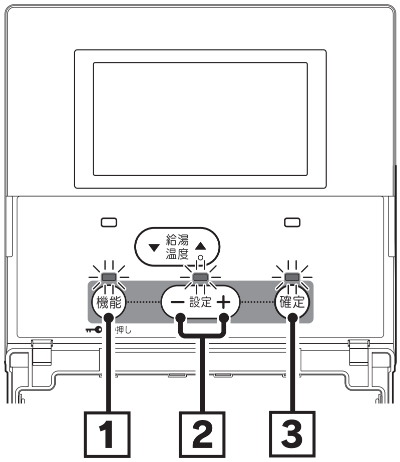
お知らせ

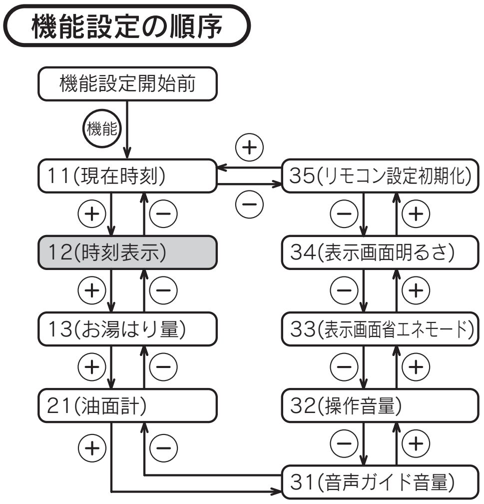
●運転スイッチの「**入・切**」に関係なく設定することができます。
●途中で設定をやめるときはふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。
●停電復帰後は、現在時刻が合っていることを確認してください。
●バックアップ運転中でも設定することができますが、表示されません。

時刻表示の設定

●時計の時刻表示を「**12H**」(AM・PM表示)または「**24H**」(24時間表示)に設定することができます。
●現在時刻は時刻表時の設定に従います。
●台所リモコンで設定します。

〈台所リモコン〉

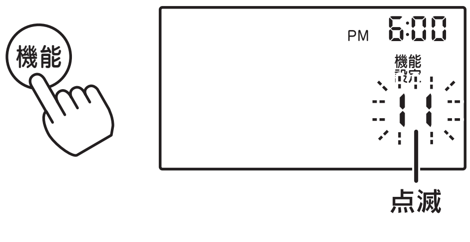




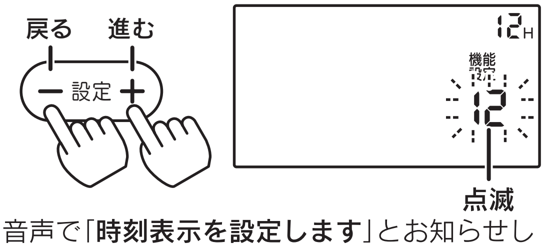
1 ふたを開く

2 機能スイッチ 1 を押す

台所リモコン表示画面

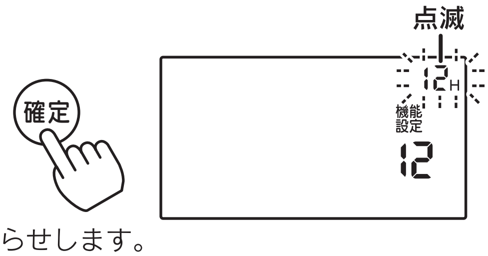


3 設定スイッチ 2 を押して「12」(時刻表示)を選択する



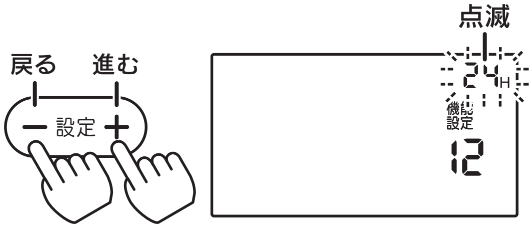
音声で「**時刻表示を設定します**」とお知らせします。

4 確定スイッチ 3 を押す



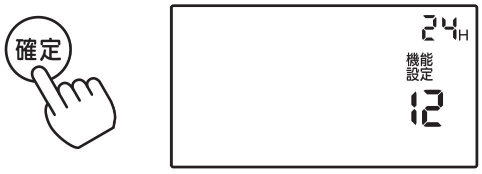
現在の設定が点滅し、音声で「**設定してください**」とお知らせします。

5 設定スイッチ[2]を押して「12H」「24H」を選択する



設定スイッチ[2]を押すごとに
「12H (AM・PM表示) ⟺ 24H (24時間表示)」
を交互に繰り返します。

6 確定スイッチ[3]を押す



設定内容が点灯し、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
続けて機能スイッチ[1]を押すと機能設定番号が点滅を始め、設定スイッチ[2]で他の機能を設定することができます。

7 ふたを閉じる

通常の表示に戻ります。
約40秒間操作しないときも通常の表示に戻ります。

お知らせ

- 運転スイッチの「**入・切**」に関係なく設定することができます。
- お買い求め時は「**12H**」(AM・PM表示)に設定されています。
- 途中で設定をやめるときはふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。
- バックアップ運転中でも設定することができますが、表示されません。

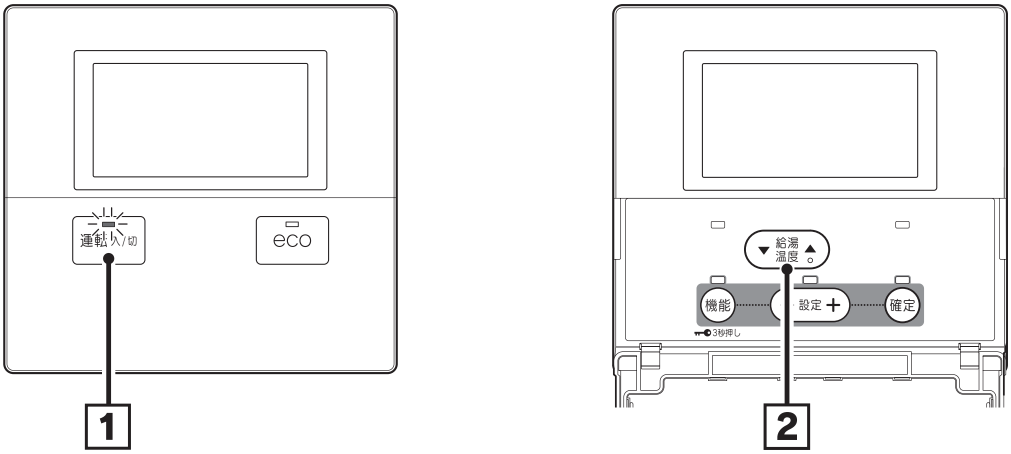
給湯運転（お湯を出します）

給湯

⚠注意

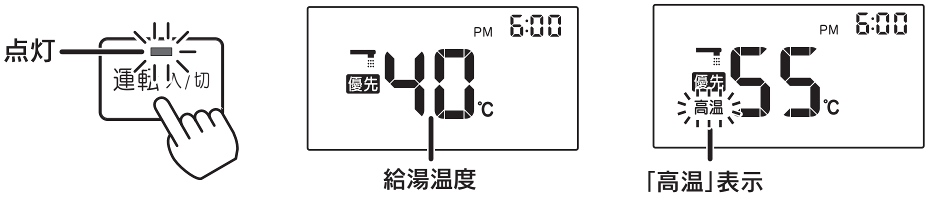
- ●シャワーを使用しているときは給湯温度の変更、優先切換えをしないでください。突然熱湯が出てやけどのおそれがあります。給湯温度を変更するときは他の場所で使用していないことを確認してから行ってください。
- ●シャワーを使用するときはリモコンの給湯温度を確認し、いきなり体や頭にかけずに必ず手でお湯の温度を確認してから使用してください。
- ●給湯温度をよく確認してから使用してください。55℃以上の高温で使用した後、再度使用するときは特に注意してください。
- ●停電時や故障時でもお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

〈台所リモコン〉



1 運転スイッチ1を押して「入」にする

台所リモコン表示画面

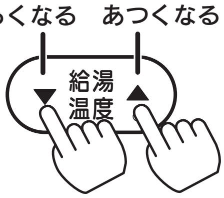


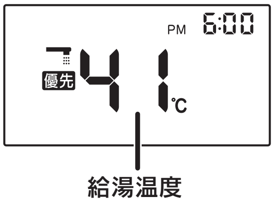
すべてのリモコンの運転ランプが点灯します。
運転スイッチ1を押したリモコンの優先ランプ、「**優先**」が点灯します。
（台所リモコンには優先ランプはありません。）
給湯温度が55℃以上に設定されているときは、音声で「**あついお湯が出ます**」とお知らせし、「**高温**」が点灯します。

2 ふたを開く

3 給湯温度調節スイッチ2を押す

（一度設定すると次回変更するまで記憶しています。）

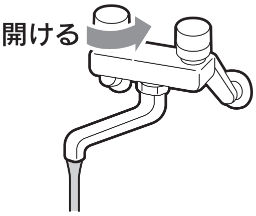




優先ランプ、「**優先**」が点灯しているリモコンで温度調節ができます。
給湯温度は約32～75℃（32℃・35℃・37～50℃（1℃ごと）・55～75℃（5℃ごと））の範囲で調節できます。給湯温度が55℃以上に設定されているときは「**高温**」が点灯し、音声で「**給湯温度が○○℃に変更されました　あついお湯が出ます**」、50℃以下に設定されているときは「**給湯温度が○○℃に変更されました**」とお知らせします。

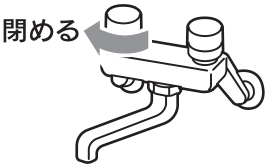
4 ふたを閉じる

5 給湯栓を開ける



自動的にバーナーが点火し、燃焼表示が点灯してお湯が出ます。お湯にならないときは、給湯栓をもう少し開けてください。

6 給湯栓を閉める



自動的にバーナーが消火し、燃焼表示が消灯します。次回お使いになるときはそのまま給湯栓を開けるだけで使用できます。
長時間使用しないときはリモコンの運転スイッチ1を押して「**切**」にしてください。リモコンの運転ランプが消灯します。

お知らせ

- サーモスタット付混合水栓を使用しているときは、リモコンで給湯温度を低い温度に設定するとご希望の温度にならないことがあります。リモコンの給湯温度は湯温安定のため、混合水栓の設定温度より約15℃高めにして使用してください。
- サーモスタット付混合水栓のシャワーの勢いが弱いときは、リモコンの給湯温度を高くするとシャワーの勢いが強くなります。
- じゃ口から出る水が少ないときは、点火しないことがあります。点火できる最小の流量は、毎分約2.5リットルです。

リモコンの優先について

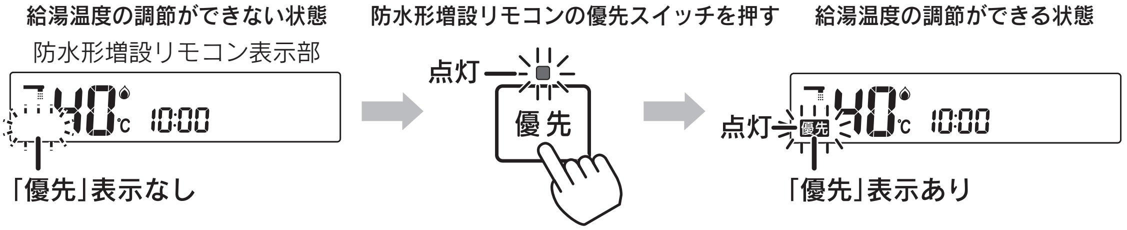
⚠注意

●シャワーを使用しているときは給湯温度の変更、優先切換えをしないでください。突然熱湯が出てやけどのおそれがあります。給湯温度を変更するときは他の場所で使用していないことを確認してから行ってください。

●台所・洗面所・浴室などには機器から同じ温度のお湯が供給されています。そのためお湯を使用中に他の人が給湯温度を変更するとお湯の温度が変わり、やけどや冷水による思わぬ事故につながることがあります。このような事故を防止するため、リモコンを複数取付けているときは優先ランプと「**優先**」が点灯しているリモコン以外は給湯温度が変更できないようになっています。（台所リモコンには優先スイッチと優先ランプはありません。）

防水形増設リモコンを優先にするとき

防水形増設リモコンの優先スイッチを押す



優先ランプ、「**優先**」が点灯して、給湯温度の調節ができるようになります。

お知らせ

●防水形増設リモコンが優先になっているときに優先スイッチを押すと、優先が解除されて台所リモコンが優先になります。このとき防水形増設リモコンの優先ランプ、「**優先**」は消灯します。（台所リモコンには優先スイッチと優先ランプはありません。）

給湯量と給湯温度の早見表

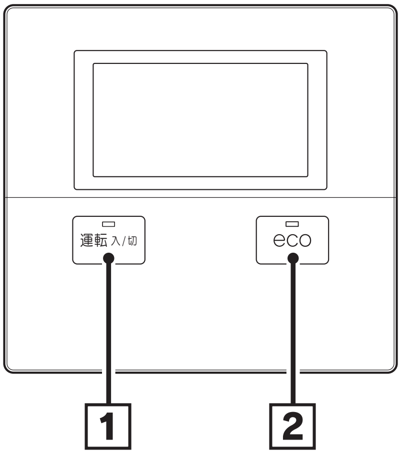
●給湯量と給湯温度との関係は下表がめやすになります。
機器本体の最大給湯量は約32L/分、最小給湯量は約2.5L/分です。
●給湯量は給水温度・給水圧・混合水栓・配管などの諸条件により異なります。

給湯量（L/分）			
給湯温度	給水温度		
	5℃（冬期）	15℃（春期・秋期）	25℃（夏期）
37℃	20	30	32
45℃	16	22	
55℃	13	16	22
65℃	11	13	16

eco機能

●季節に応じて給湯能力(燃料消費量や出湯量)を自動的におさえたeco運転を行います。
●eco機能で灯油代や水道代が節約できます。

〈台所リモコン〉

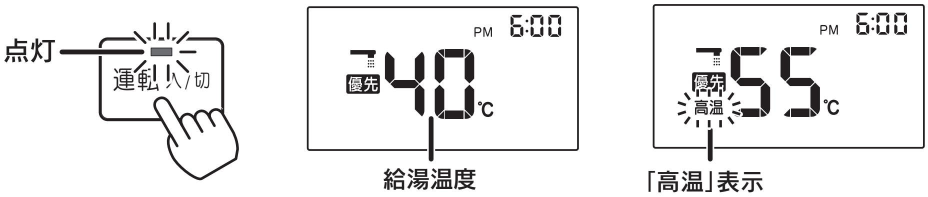


●給湯能力のめやす

季節	給湯能力
冬	約90%
春・秋	約70%
夏	約50%

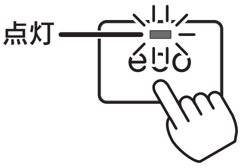
1 運転スイッチ1を押して「入」にする

台所リモコン表示画面



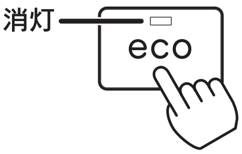
すべてのリモコンの運転ランプが点灯します。
運転スイッチ1を押したリモコンの優先ランプ、「**優先**」が点灯します。
(台所リモコンには優先ランプはありません。)
給湯温度が55℃以上に設定されているときは、音声で「**あついお湯が出ます**」とお知らせし、「**高温**」が点灯します。

2 ecoスイッチ2を押す



ecoランプが点灯します。
給湯栓を開けると自動的にeco運転を行います。

eco運転を解除するときは



ecoスイッチ**2**を押してください。
ecoランプが消灯します。

お知らせ

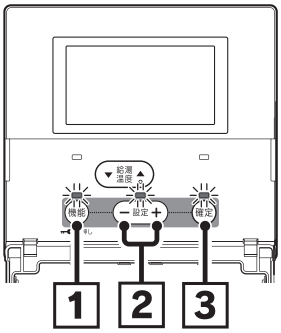
- eco運転中はお湯の流量が少なくなります。
- 一度ecoスイッチを押すと、リモコンの運転スイッチを押して「**切**」にし、再度押して「**入**」にしてもeco機能の設定は有効です。
- 停電するとeco機能の設定が解除されます。

定量お知らせ機能

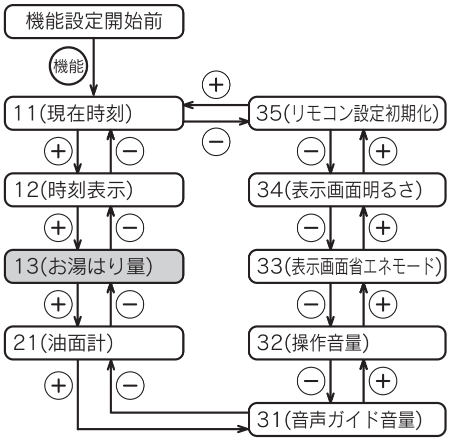
●設定量のお湯が出ると台所リモコンから音声またはブザーでお知らせします。
●浴そうにお湯を入れるときに使用すると便利です。
●台所リモコンで設定します。

お湯はり量の設定方法

〈台所リモコン〉



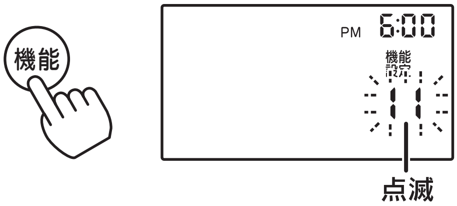
機能設定の順序



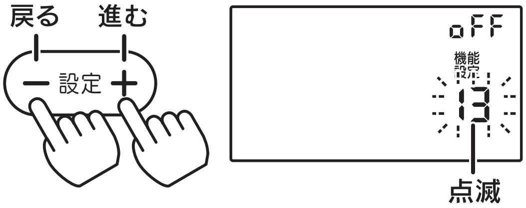
1 ふたを開く

2 機能スイッチ[1]を押す

台所リモコン表示画面

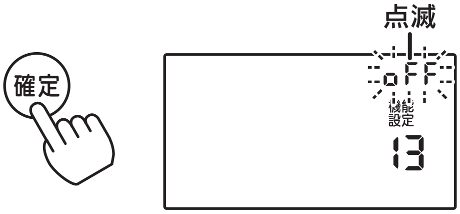


3 設定スイッチ[2]を押して「13」(お湯はり量)を選択する



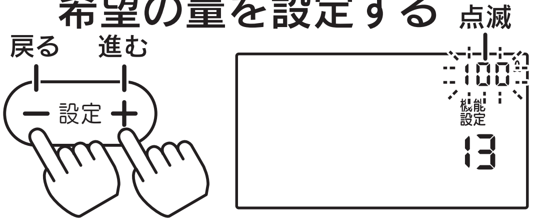
音声で「**お湯はり量を設定します**」とお知らせします。

4 確定スイッチ[3]を押す



現在の設定が点滅し、音声で「**設定してください**」とお知らせします。

5 設定スイッチ[2]を押して希望の量を設定する



お湯はり量は約100～500リットルの範囲を10リットル単位で設定することができます。使用しないときは「**oFF**」に設定してください。

6 確定スイッチ[3]を押す

設定内容が点灯し、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
続けて機能スイッチ[1]を押すと機能設定番号が点滅を始め、設定スイッチ[2]で他の機能を設定することができます。

7 ふたを閉じる

通常の表示に戻ります。
約40秒間操作しないときも通常の表示に戻ります。

お知らせ

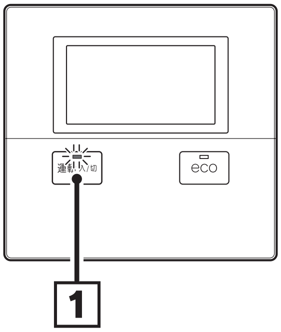
- ●運転スイッチの「**入・切**」に関係なく設定することができます。
- ●お買い求め時は「**oFF**」（定量お知らせ機能「**切**」）に設定されています。
- ●途中で設定をやめるときはふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

使用方法

⚠注意

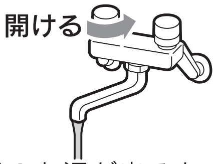
- ●優先側のリモコンの給湯温度でお湯はりをしますので、優先側の給湯温度を確認してください。給湯温度が高いとやけどのおそれがあります。
- ●入浴するときは必ず手でお湯の温度を確かめてください。

〈台所リモコン〉



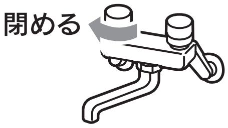
●運転スイッチ[1]が「**切**」のときは押して「**入**」にしてください。

1 給湯栓を開ける



設定量のお湯が出ると、台所リモコンから音声で「**設定量になりました　おふろのじゃ口を閉めてください**」とお知らせ、またはブザーでお知らせします。

2 給湯栓を閉める



音声またはブザーが止まります。

お知らせ

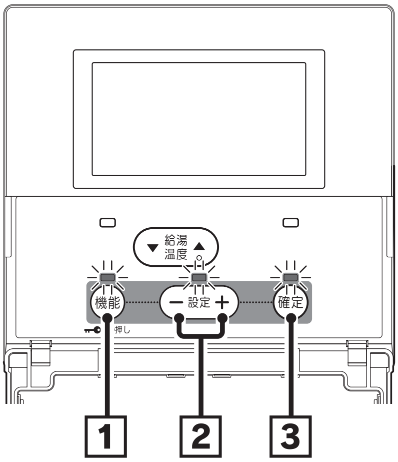
●台所リモコンから音声またはブザーでお知らせしても、**お湯は自動的に止まりません**ので、必ず給湯栓を閉めてください。音声またはブザーは給湯栓を閉めるか、リモコンの運転スイッチを押して「**切**」にすると止まります。
●サーモスタット付混合水栓を使用しているときは、混合水栓側の設定温度を最高温度にしてお湯はりを行ってください。最高温度に設定しないと水が混ざり、浴そうからお湯があふれることがあります。
●やけどのおそれがありますので50℃以上の温度に設定しないでください。
●浴そうにお湯を入れているときに他の場所で大量にお湯を使用すると、設定量にならないことがあります。
●お湯はりの途中に一度給湯栓を閉めると設定量までのお湯はり量の計算は0に戻ります。また、浴そうにお湯（水）が残ったまま給湯栓を開けると、音声またはブザーでお知らせする前にあふれることがありますので注意してください。

リモコンの設定

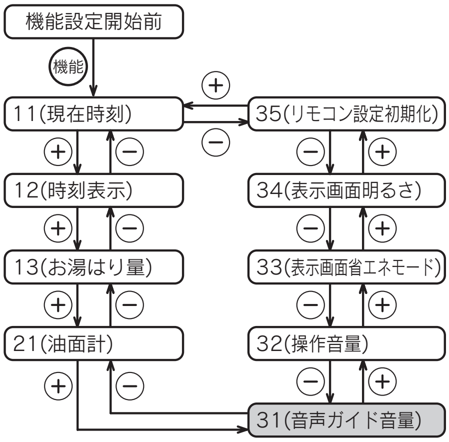
音声ガイド音量の設定

●お知らせする音声ガイドの音量を調節することができます。

〈台所リモコン〉



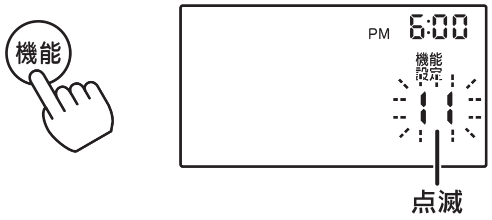
機能設定の順序



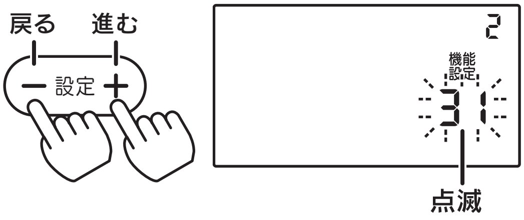
1 ふたを開く

2 機能スイッチ**1**を押す

台所リモコン表示画面

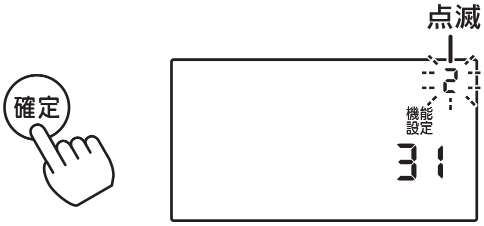


3 設定スイッチ**2**を押して「31」(音声ガイド音量)を選択する



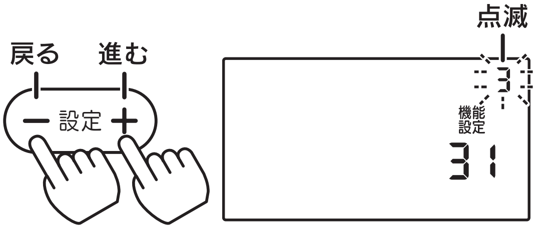
音声で「**音声ガイド音量を設定します**」とお知らせします。

4 確定スイッチ3を押す



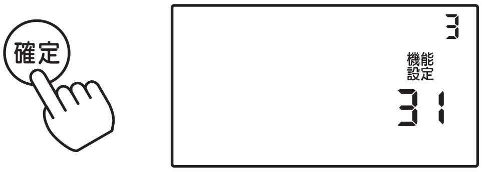
現在の設定が点滅し、音声で「**設定してください**」とお知らせします。

5 設定スイッチ2を押して希望の内容を選択する



設定スイッチ2を押すごとに
「0⇔1⇔2⇔3」の順で変更できます。
（切）（小）（中）（大）

6 確定スイッチ3を押す



設定内容が点灯し、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
続けて機能スイッチ1を押すと機能設定番号が点滅を始め、設定スイッチ2で他の機能を設定することができます。

7 ふたを閉じる

通常の表示に戻ります。
約40秒間操作しないときも通常の表示に戻ります。

その他の機能

音声リモコン

お知らせ

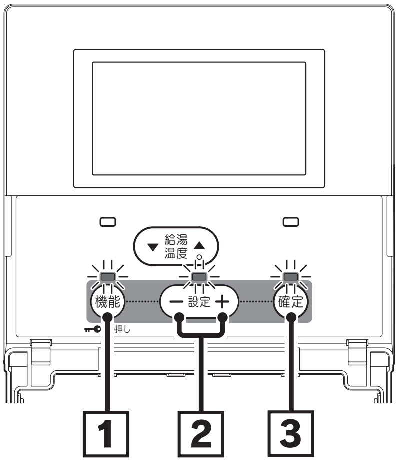
- 運転スイッチの「**入・切**」に関係なく設定することができます。
- お買い求め時は「**2**」に設定されています。
- 「**5**」で音声ガイド音量の「**1・2・3**」を選択するとき、設定スイッチを押すごとに「**この声でお知らせします**」と実際の音声ガイド音量でお知らせします。
- 音声ガイド音量を「**0(切)**」に設定すると音声ガイドは消えますが、ブザー音でお知らせすることがあります。
- 途中で設定をやめるときはふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

41ページ

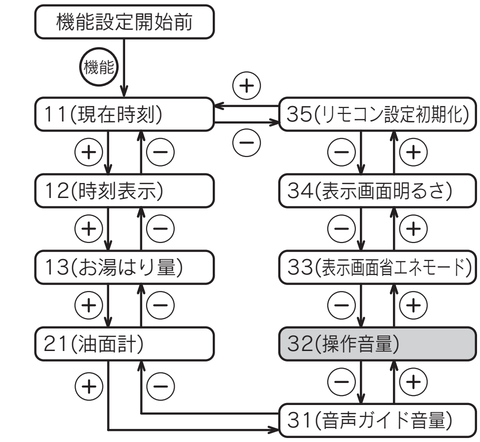
操作音量の設定

●スイッチを押したときに鳴る音の大きさ（操作音量）を調節することができます。

〈台所リモコン〉



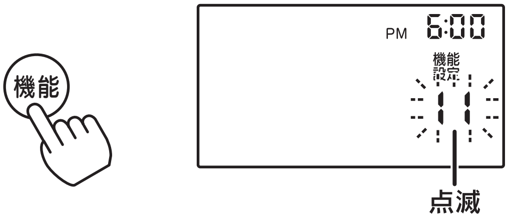
機能設定の順序



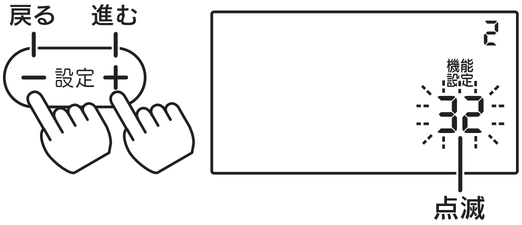
1 ふたを開く

2 機能スイッチ 1 を押す

台所リモコン表示画面

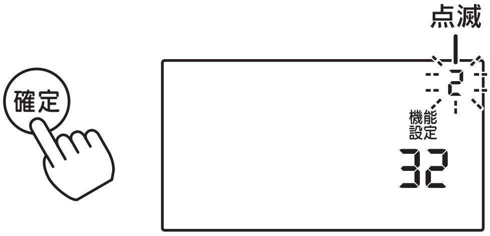


3 設定スイッチ 2 を押して「32」（操作音量）を選択する



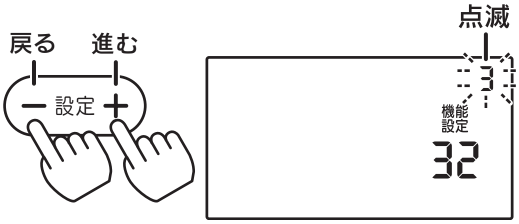
音声で「**操作音量を設定します**」とお知らせします。

4 確定スイッチ3を押す



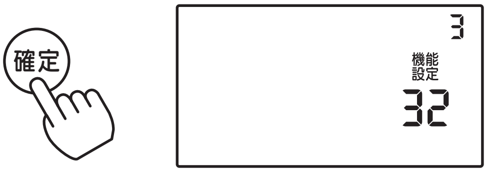
現在の設定が点滅し、音声で「**設定してください**」とお知らせします。

5 設定スイッチ2を押して希望の内容を選択する



設定スイッチ2を押すごとに
「0⇔1⇔2⇔3」の順で変更できます。
（切）（小）（中）（大）

6 確定スイッチ3を押す



設定内容が点灯し、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
続けて機能スイッチ1を押すと機能設定番号が点滅を始め、設定スイッチ2で他の機能を設定することができます。

7 ふたを閉じる

通常の表示に戻ります。
約40秒間操作しないときも通常の表示に戻ります。

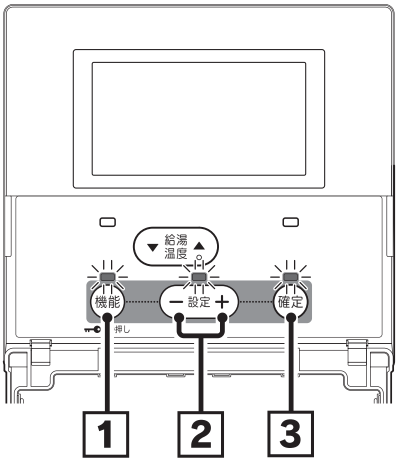
お知らせ

- 運転スイッチの「**入・切**」に関係なく設定することができます。
- お買い求め時は「**2**」に設定されています。
- 途中で設定をやめるときはふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

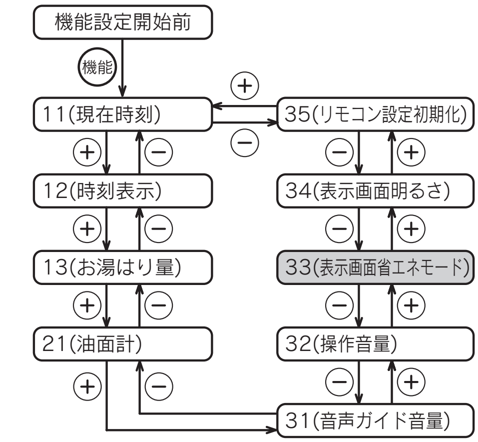
表示画面省エネモードの設定

●表示画面のバックライトの点灯状態を変更することができます。

〈台所リモコン〉



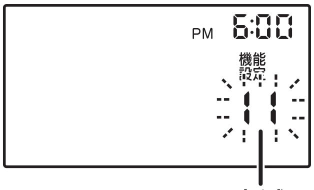
機能設定の順序



1 ふたを開く

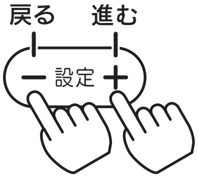
2 機能スイッチ1を押す

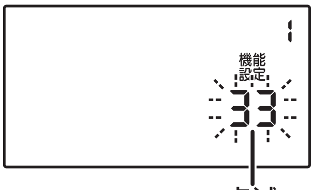
台所リモコン表示画面



点滅

3 設定スイッチ2を押して「33」(表示画面省エネモード)を選択する

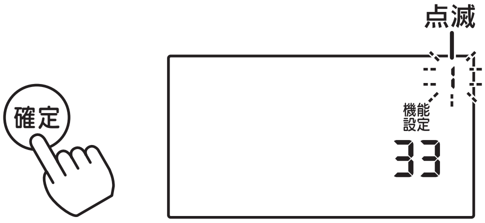




点滅

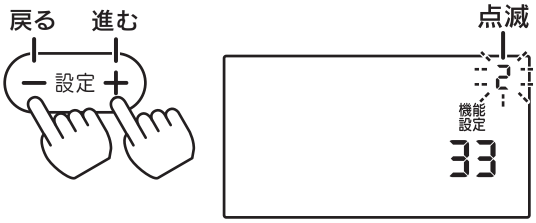
音声で「**表示画面省エネモードを設定します**」とお知らせします。

4 確定スイッチ3を押す



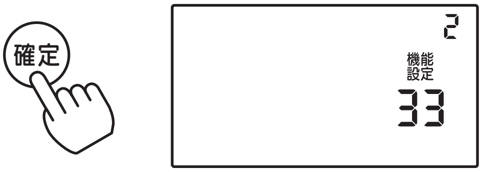
現在の設定が点滅し、音声で「**設定してください**」とお知らせします。

5 設定スイッチ2を押して希望の内容を選択する



設定スイッチ2を押すごとに「1⇔2⇔3⇔4」の順で変更できます。
（下表参照）

6 確定スイッチ3を押す



設定内容が点灯し、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
続けて機能スイッチ1を押すと機能設定番号が点滅を始め、設定スイッチ2で他の機能を設定することができます。

7 ふたを閉じる

通常の表示に戻ります。
約40秒間操作しないときも通常の表示に戻ります。

設定	内　　容
1	通常使用時は設定した明るさで表示、待機時は設定した明るさより暗い節約モードになります。（操作終了から約５分後）
2	通常使用時は設定した明るさで表示、待機時はバックライトを消灯します。（操作終了から約５分後）
3	常に設定した明るさで表示します。
4	常にバックライトを消灯します。

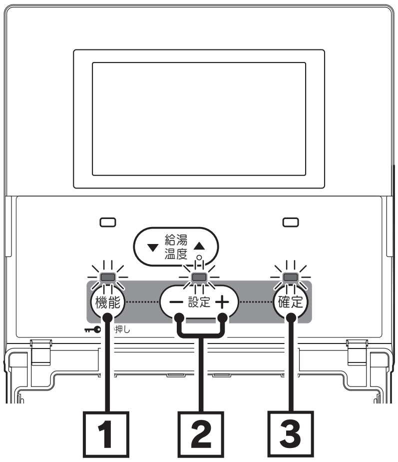
お知らせ

- 運転スイッチの「**入・切**」に関係なく設定することができます。
- 表示画面省エネモードの設定内容は上表のとおりです。
- お買い求め時は「**1**」に設定されています。
- 「1」・「2」に設定していても、給湯温度を55℃以上に設定しているときは常に設定した明るさで表示します。
- 「1」・「2」は表示画面省エネモード中にリモコンを操作すると表示画面のバックライトは設定した明るさに戻ります。
- 途中で設定をやめるときはふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

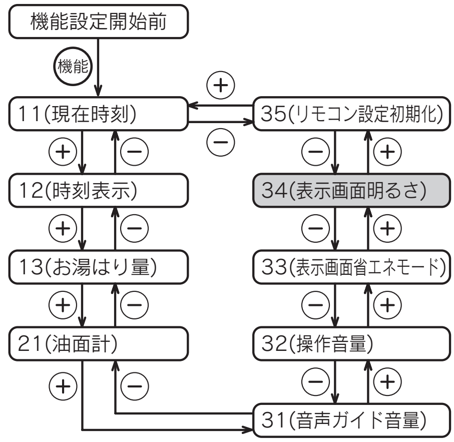
表示画面明るさの設定

●表示画面の明るさを変更することができます。

〈台所リモコン〉



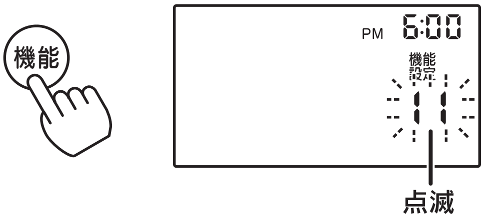
機能設定の順序



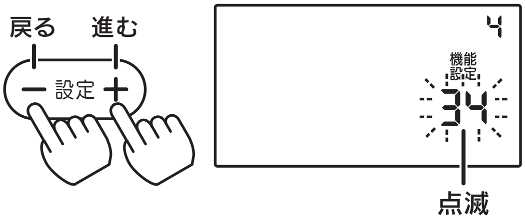
1 ふたを開く

2 機能スイッチ1を押す

台所リモコン表示画面

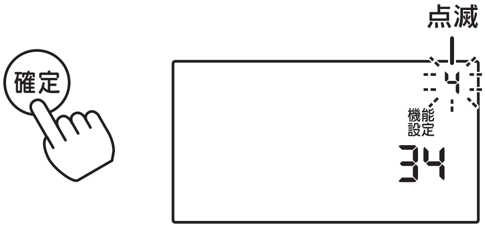


3 設定スイッチ2を押して「34」(表示画面明るさ)を選択する



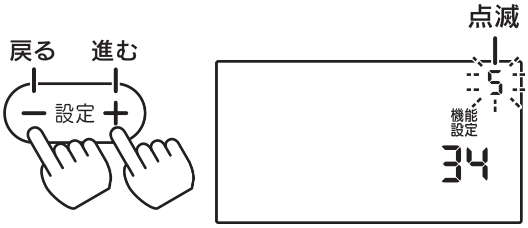
音声で「**表示画面明るさを設定します**」とお知らせします。

4 確定スイッチ3を押す



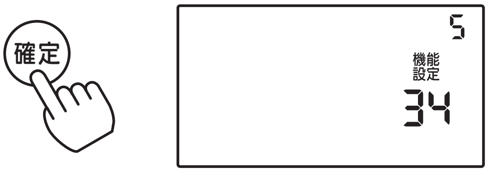
現在の設定が点滅し、音声で「**設定してください**」とお知らせします。

5 設定スイッチ2を押して希望の内容を選択する



設定スイッチ2を押すごとに
「 1 ⇔ 2 … 6 ⇔ 7 」の順で変更できます。
（暗）　　　　　　（明）

6 確定スイッチ3を押す



設定内容が点灯し、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
続けて機能スイッチ1を押すと機能設定番号が点滅を始め、設定スイッチ2で他の機能を設定することができます。

7 ふたを閉じる

通常の表示に戻ります。
約40秒間操作しないときも通常の表示に戻ります。

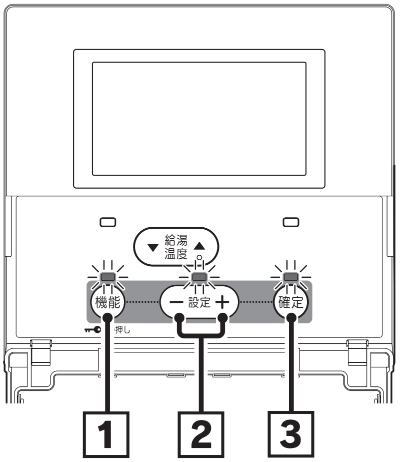
お知らせ

- 運転スイッチの「**入・切**」に関係なく設定することができます。
- お買い求め時は「**4**」に設定されています。
- 途中で設定をやめるときはふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

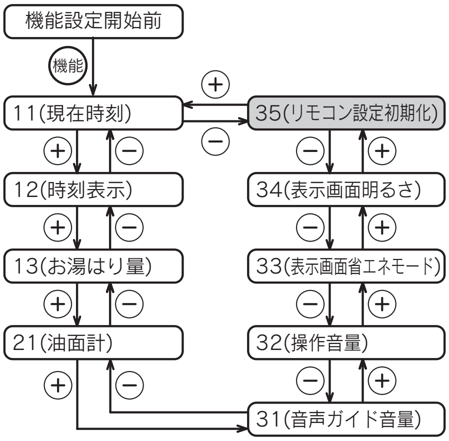
リモコン設定の初期化

●音・表示に関する設定項目をお買い求め時の状態に戻すことができます。

〈台所リモコン〉



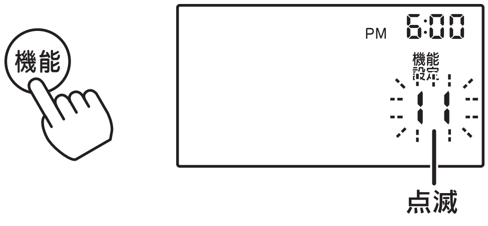
機能設定の順序



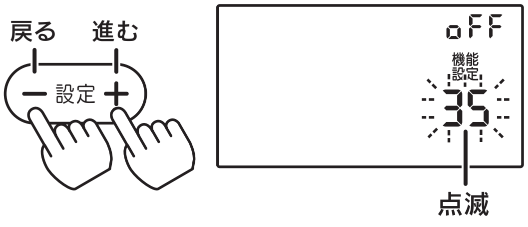
1 ふたを開く

2 機能スイッチ[1]を押す

台所リモコン表示画面

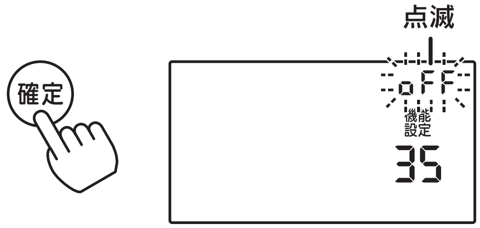


3 設定スイッチ[2]を押して「35」(リモコン設定初期化)を選択する



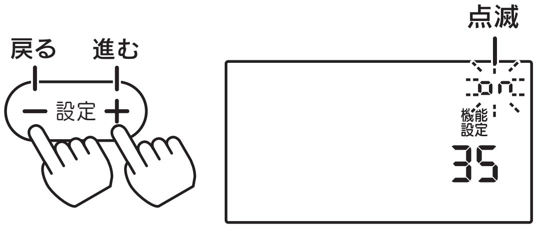
音声で「**リモコン設定初期化を設定します**」とお知らせします。

4 確定スイッチ[3]を押す



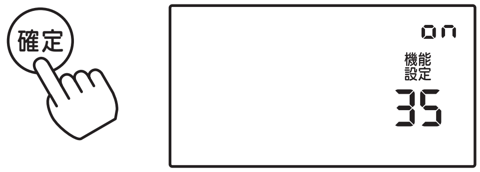
「oFF」が点滅し、音声で「**設定してください**」とお知らせします。

5 設定スイッチ[2]を押して希望の内容を選択する



設定スイッチ[2]を押すごとに「 on ⇔ oFF 」を交互に繰り返します。（する）（しない）

6 確定スイッチ[3]を押す



設定内容が点灯し、「**5**」で「on」に設定すると、音声で「**初期化しました**」とお知らせします。
続けて機能スイッチ[1]を押すと機能設定番号が点滅を始め、設定スイッチ[2]で他の機能を設定することができます。

7 ふたを閉じる

通常の表示に戻ります。
約40秒間操作しないときも通常の表示に戻ります。

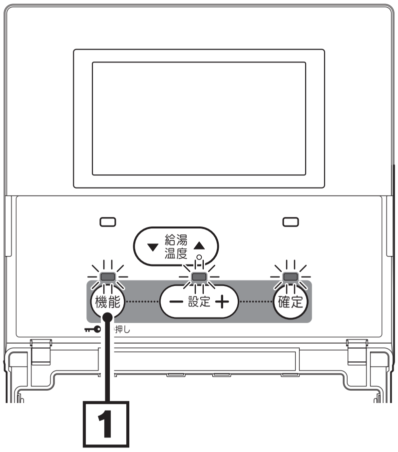
お知らせ

- 運転スイッチの「**入・切**」に関係なく設定することができます。
- お買い求め時は「**oFF**」に設定されています。
- 途中で設定をやめるときはふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。
- この操作で初期化される内容は、「**音声ガイド音量**」・「**操作音量**」・「**表示画面省エネモード**」・「**表示画面明るさ**」です。

チャイルドロック機能

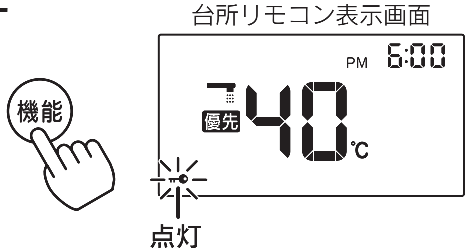
●お子様のいたずらによる運転開始、温度変更などを防止します。
● 🔑が点灯しているときは、「**運転**」「**eco**」を停止する操作のみ受け付けます。
その他の操作を行うと、音声で「**チャイルドロックが設定されています**」とお知らせします。
🔑表示中にその他の操作をしたいときは、チャイルドロックの解除を行ってください。

〈台所リモコン〉



1 ふたを開く

2 機能スイッチ1を約３秒間押す



音声で「**チャイルドロックが設定されました**」とお知らせし、表示画面に 🔑 が点灯します。

3 ふたを閉じる

チャイルドロックを解除するときは

機能スイッチ1を約３秒間押します。表示画面の 🔑 が消灯します。

お知らせ

●運転スイッチの「**入・切**」に関係なく設定することができます。
●停電するとチャイルドロックは解除されます。

音声ガイド一覧

●操作の一例を表示しています。
●♪はメロディが鳴ることを表しています。

台所リモコンでの操作

操作するスイッチ・条件など			台所リモコンの音声ガイド	台所リモコンの音声ガイド 音量「0(切)」のとき
運転「**入**」		55℃以上	あついお湯が出ます(※3)	ピピッ
		50℃以下	——	——
運転「**切**」			——	——
台所リモコン 優先のとき	給湯温度 上下	55℃以上	給湯温度が○○℃に変更されました あついお湯が出ます(※3)	——
		50℃以下	給湯温度が○○℃に変更されました	——
防水形リモコン 優先のとき	給湯温度上下		変更できません 優先を確認してください	ピピピピッ
お湯はり量で設定した量のお湯(水)が使用されたとき(※1)			♪設定量になりました おふろのじゃ口を閉めてください(※3)	ピピピピピピピッ
機能スイッチを約3秒間押す			チャイルドロックが設定されました	——
操作を受け付けないとき(チャイルドロック設定中)			チャイルドロックが設定されています	ピピピピッ
eco			——	——
機能スイッチを押したとき 機能設定番号を変更したとき	機能設定番号　11		現在時刻を設定します	——
	機能設定番号　12		時刻表示を設定します	——
	機能設定番号　13		お湯はり量を設定します	——
	機能設定番号　21		油面計を設定します	——
	機能設定番号　31		音声ガイド音量を設定します	——
	機能設定番号　32		操作音量を設定します	——
	機能設定番号　33		表示画面省エネモードを設定します	——
	機能設定番号　34		表示画面明るさを設定します	——
	機能設定番号　35		リモコン設定初期化を設定します	——
設定を変更し、確定したとき			変更されました	——
操作を誤ったとき			受け付けできません 確認してください	ピピピピッ
灯油が少なくなったとき(※2)			♪灯油が少なくなりました(※3)	——

※1…給湯栓を閉めるか、リモコンの運転スイッチを押して「**切**」にするまで繰り返しお知らせします。
※2…別売の「**油切れ予告装置(OC-5)**」または「**油切れ予告装置(OC-31)**」を取付けるとお知らせします。
※3…「**音声ガイド音量の設定**」で「**1**」に設定しても「**2**」と同じ音量でお知らせします。

防水形増設リモコンでの操作

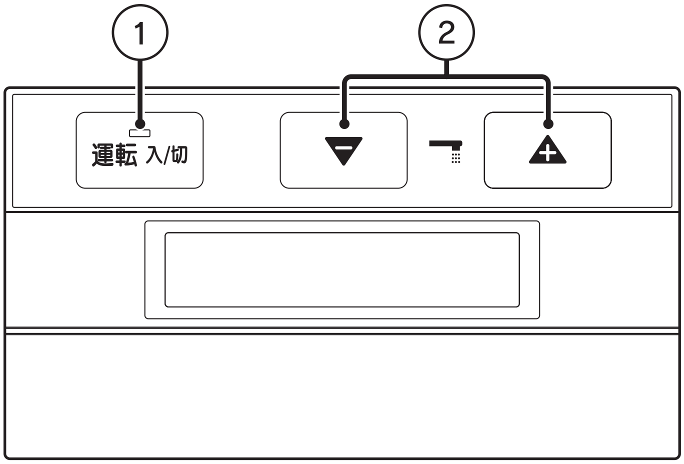
操作するスイッチ・条件など			台所リモコンの音声ガイド	台所リモコンの音声ガイド 音量「0(切)」のとき
運転「**入**」		55℃以上	あついお湯が出ます(※1)	ピピッ
		50℃以下	——	——
運転「**切**」			——	——
防水形増設 リモコン 優先のとき	優先「**切**」に したとき	台所リモコンが 55℃以上	給湯温度が○○℃に変更されました あついお湯が出ます(※1)	ピピッ
		台所リモコンが 50℃以下	給湯温度が○○℃に変更されました	ピピッ
	給湯温度 上下	55℃以上	給湯温度が○○℃に変更されました あついお湯が出ます(※1)	ピピッ
		50℃以下	給湯温度が○○℃に変更されました	ピピッ
台所リモコン 優先のとき	優先「**入**」に したとき	55℃以上	給湯温度が○○℃に変更されました あついお湯が出ます(※1)	ピピッ
		50℃以下	給湯温度が○○℃に変更されました	ピピッ
	給湯温度上下		——	——
呼び出し			♪おふろで呼んでいます(2回)(※1)	ピーピーピーピーピーピー(2回)

※1…「**音声ガイド音量の設定**」で「**1**」に設定しても「**2**」と同じ音量でお知らせします。

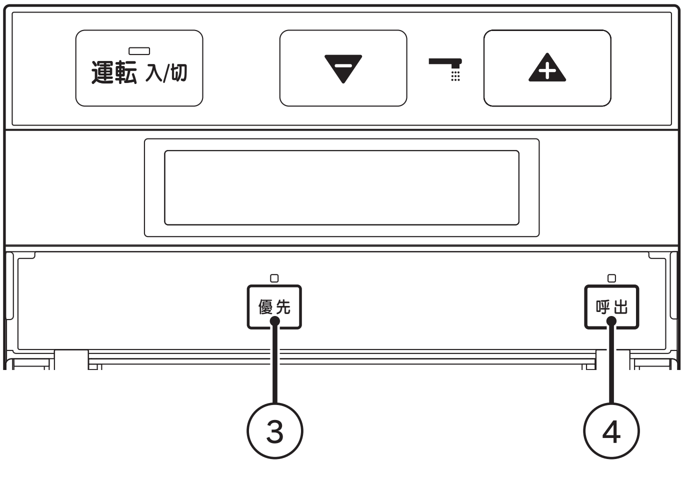
各部の名称とはたらき

●この機器はリモコンによって操作方法などが異なります。

防水形増設リモコン（別売部品・YST-2903…カンタンリモコン）



ふたを閉じた状態です。

ふたを開いた状態です。


① 運転スイッチ（運転ランプ）

運転・停止・リセットするときに押します。
運転スイッチが「**入**」のときに点灯します。

リセット(警報解除)の方法
運転スイッチを一度押して「**切**」にしてから再度押して「**入**」にします。

② 給湯温度調節スイッチ

給湯温度を調節するときに押します。
「**優先**」が点灯しているときのみ給湯温度の調節ができます。

▲(+)…温度を高くする（あつくなる）
▼(−)…温度を低くする（ぬるくなる）

温度調節範囲
…約32～75℃

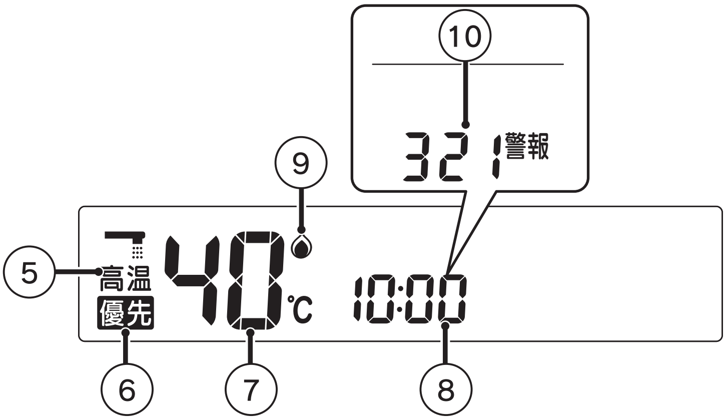
32℃・35℃・37～50℃(1℃ごと)・55～75℃(5℃ごと)に設定できます。

選択した機能の設定を変更するときに押します。

▲(+)…時間や数値を増やす
▼(−)…時間や数値を減らす

③ 優先スイッチ（優先ランプ）	④ 呼出スイッチ（呼出ランプ）
防水形増設リモコンで給湯温度を調節するときに押します。このランプが点灯しているときのみ給湯温度の調節ができます。	台所リモコンを呼び出すときに押します。 **点灯**…呼び出しています。

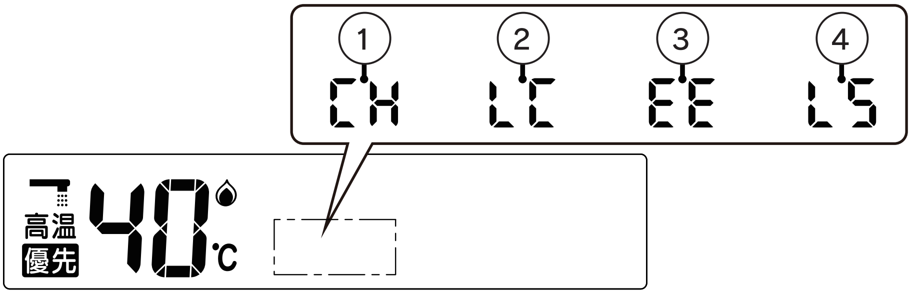
表示部



⑤ 高温表示	⑦ 給湯温度表示	⑨ 燃焼表示
給湯温度を55℃以上に設定したときに表示します。	給湯温度を表示します。	**点灯**…バーナーが燃焼しているときに表示します。 **点滅（警報）**…安全装置が作動し燃焼が停止しています。
⑥ 優先表示	**⑧ 現在時刻表示**	**⑩ エラーコード表示**
この表示が点灯しているときのみ給湯温度の調節ができます。 24ページ 46ページ	現在時刻を表示します。	機器に何らかの異常があるときに表示します。 69〜71ページ

表示は説明のためのもので実際とは異なります。

バックアップ電源ユニット関連の表示



① バッテリー充電中表示	③ ユニット異常表示
バッテリー充電中に点滅します。	バックアップ電源ユニットが故障したときに点滅します。
② バッテリー交換表示	**④ バッテリー残量表示**
バッテリーの交換時期になると点滅します。	使用できるバッテリーの残量を6段階で表示します。（※1） バックアップ運転中に表示します。

※1

バッテリー残量表示	バッテリー残量
LL 点滅	少
L1	
L2	
L3	
L4	
L5	多

表示は説明のためのもので実際とは異なります。

表示部の特性について

●表示内容などにより明るさにムラが生じる場合があります。
●表示部を正面以外から見ると表示色が変化して見える場合があります。
●気温が下がると表示の切換わりが遅くなる場合があります。

給湯運転（お湯を出します）

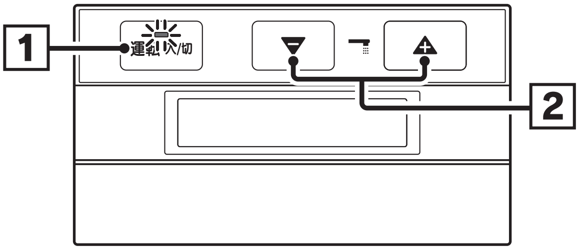
44～53ページはカンタンリモコンの説明です。

給湯

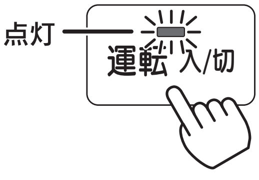
⚠注意

●シャワーを使用しているときは給湯温度の変更、優先切換えをしないでください。突然熱湯が出てやけどのおそれがあります。給湯温度を変更するときは他の場所で使用していないことを確認してから行ってください。
●シャワーを使用するときはリモコンの給湯温度を確認し、いきなり体や頭にかけずに必ず手でお湯の温度を確認してから使用してください。
●給湯温度をよく確認してから使用してください。55℃以上の高温で使用した後、再度使用するときは特に注意してください。
●停電時や故障時でもお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

〈防水形増設リモコン〉

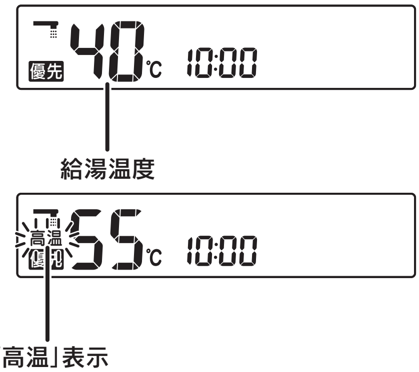


1 運転スイッチ1を押して「入」にする

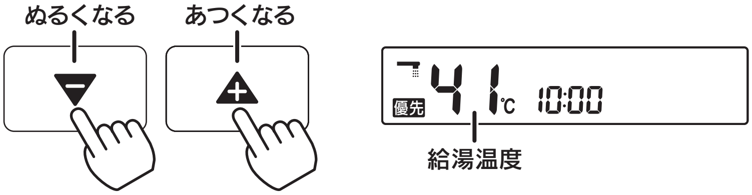


すべてのリモコンの運転ランプが点灯します。
運転スイッチ1を押したリモコンの優先ランプ、「**優先**」が点灯します。
（台所リモコンには優先スイッチと優先ランプはありません。）
給湯温度が55℃以上に設定されているときは、すべてのリモコンで「**高温**」が点灯しブザーが「**ピピッ**」と鳴ってお知らせします。

防水形増設リモコン表示部

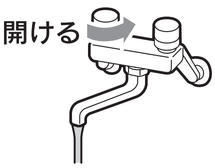


2 給湯温度調節スイッチ[2]を押す
（一度設定すると次回変更するまで記憶しています。）



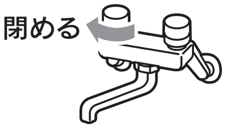
優先ランプ、「**優先**」が点灯しているリモコンで温度調節ができます。
給湯温度は約32～75℃（32℃・35℃・37～50℃（1℃ごと）・55～75℃（5℃ごと））の範囲で調節できます。
給湯温度を変更すると、操作していないリモコンでブザーが「**ピピッ**」と鳴ってお知らせします。
また、給湯温度が55℃以上に設定されているときは、すべてのリモコンで「**高温**」が点灯します。

3 給湯栓を開ける



自動的にバーナーが点火し、燃焼表示が点灯してお湯が出ます。お湯にならないときは、給湯栓をもう少し開けてください。

4 給湯栓を閉める



自動的にバーナーが消火し、燃焼表示が消灯します。次回お使いになるときはそのまま給湯栓を開けるだけで使用できます。
長時間使用しないときはリモコンの運転スイッチ[1]を押して「**切**」にしてください。リモコンの運転ランプが消灯します。

お知らせ

- ●サーモスタット付混合水栓を使用しているときは、リモコンで給湯温度を低い温度に設定するとご希望の温度にならないことがあります。リモコンの給湯温度は湯温安定のため、混合水栓の設定温度より約15℃高めにして使用してください。
- ●サーモスタット付混合水栓のシャワーの勢いが弱いときは、リモコンの給湯温度を高くするとシャワーの勢いが強くなります。
- ●じゃ口から出る水が少ないときは、点火しないことがあります。点火できる最小の流量は、毎分約2.5リットルです。

リモコンの優先について

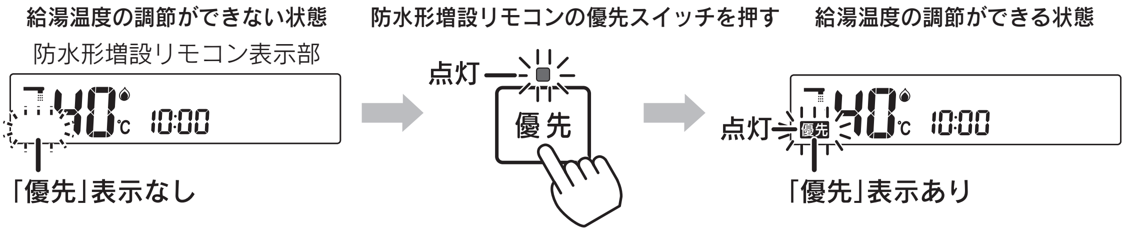
⚠注意

●シャワーを使用しているときは給湯温度の変更、優先切換えをしないでください。突然熱湯が出てやけどのおそれがあります。給湯温度を変更するときは他の場所で使用していないことを確認してから行ってください。

●台所・洗面所・浴室などには機器から同じ温度のお湯が供給されています。そのためお湯を使用中に他の人が給湯温度を変更するとお湯の温度が変わり、やけどや冷水による思わぬ事故につながることがあります。このような事故を防止するため、リモコンを複数取付けているときは優先ランプと「**優先**」が点灯しているリモコン以外は給湯温度が変更できないようになっています。（台所リモコンには優先スイッチと優先ランプはありません。）

防水形増設リモコンを優先にするとき

防水形増設リモコンの優先スイッチを押す



優先ランプ、「**優先**」が点灯して、給湯温度の調節ができるようになります。

お知らせ

●防水形増設リモコンが優先になっているときに優先スイッチを押すと、優先が解除されて台所リモコンが優先になります。このとき防水形増設リモコンの優先ランプ、「**優先**」は消灯します。（台所リモコンには優先スイッチと優先ランプはありません。）

●優先が切換わり給湯温度が変更されたときは、優先スイッチを押して「**優先**」にしたリモコンを除き、すべてのリモコンでブザーが「**ピピッ**」と鳴ってお知らせします。

給湯量と給湯温度の早見表

●給湯量と給湯温度との関係は下表がめやすになります。
　機器本体の最大給湯量は約32L/分、最小給湯量は約2.5L/分です。
●給湯量は給水温度・給水圧・混合水栓・配管などの諸条件により異なります。

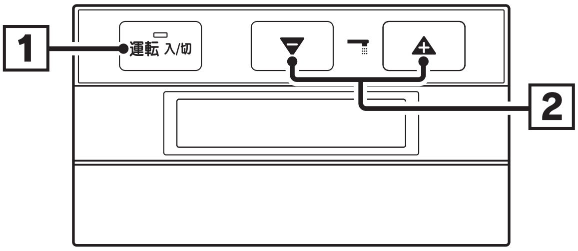
給湯量（L/分）			
給湯温度	給水温度		
	5℃ （冬期）	15℃ （春期・秋期）	25℃ （夏期）
37℃	20	30	32
45℃	16	22	
55℃	13	16	22
65℃	11	13	16

リモコンの設定

表示部省エネモードの設定

●表示部のバックライトの点灯状態を変更することができます。

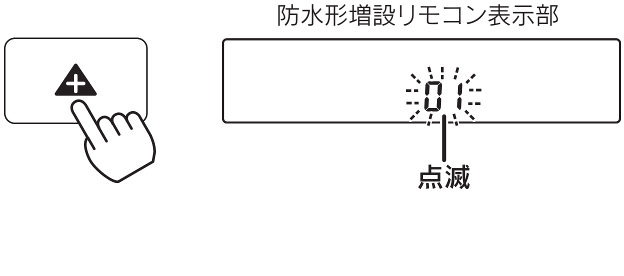
〈防水形増設リモコン〉



1 運転スイッチ1を押して「切」にする

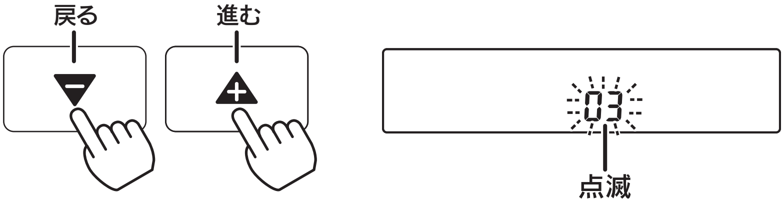
※運転スイッチ1が「入」のとき

2 給湯温度調節スイッチ2の▲を約5秒間押す



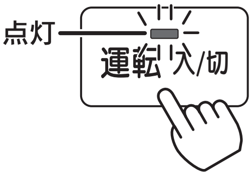
現在の設定が点滅します。

3 給湯温度調節スイッチ[2]を押して希望の内容を選択する



給湯温度調節スイッチ[2]を押すごとに「01⇔02⇔03⇔04」の順で変更できます。（下表参照）

4 運転スイッチ[1]を押す



設定した表示部省エネモードが確定され、運転スイッチ[1]が「**入**」の状態になります。
約40秒間操作しないときも表示部省エネモードが確定され、運転スイッチ[1]が「**切**」の状態になります。

設定	内　　容
01	通常使用時は設定した明るさで表示、待機時は設定した明るさより暗い節約モードになります。（操作終了から約５分後）
02	通常使用時は設定した明るさで表示、待機時はバックライトを消灯します。（操作終了から約５分後）
03	常に設定した明るさで表示します。
04	常にバックライトを消灯します。

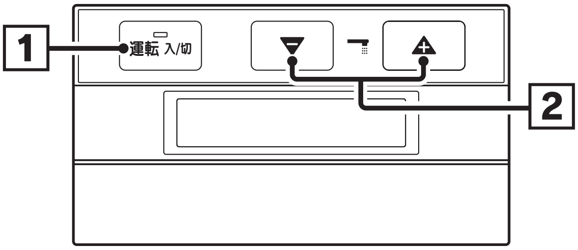
お知らせ

- 表示部省エネモードの設定は上表となります。
- お買い求め時は「01」に設定されています。
- 「01」・「02」に設定していても、給湯温度を55℃以上に設定しているときは常に設定した明るさで表示します。
- 「01」・「02」は表示部省エネモード中にリモコンを操作すると表示部のバックライトは設定した明るさに戻ります。

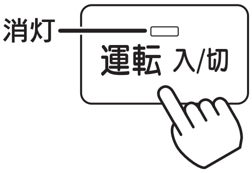
表示部明るさの設定

●表示部の明るさを変更することができます。

〈防水形増設リモコン〉

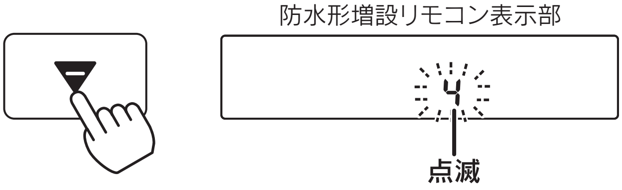


1 運転スイッチ1を押して「切」にする



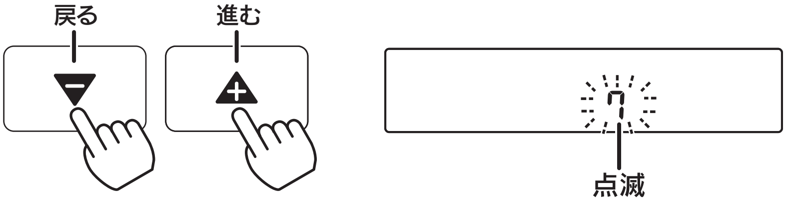
※運転スイッチ1が「入」のとき

2 給湯温度調節スイッチ2の▼を約5秒間押す



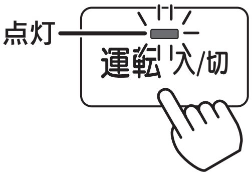
現在の設定が点滅します。

3 給湯温度調節スイッチ[2]を押して希望の内容を選択する



給湯温度調節スイッチ[2]を押すごとに「 1 ⇔ 2 … 6 ⇔ 7 」の順で変更できます。
（暗）　　　　（明）

4 運転スイッチ[1]を押す



設定した表示部明るさが確定され、運転スイッチ[1]が「**入**」の状態になります。
約40秒間操作しないときも表示部明るさが確定され、運転スイッチ[1]が「**切**」の状態になります。

お知らせ

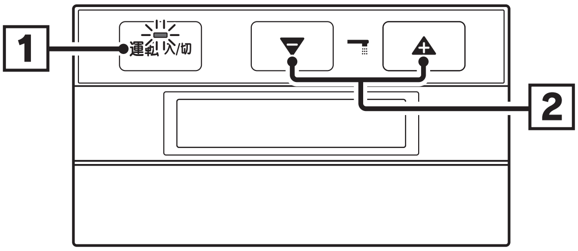
●お買い求め時は「**4**」に設定されています。

リモコンの設定

操作音の設定

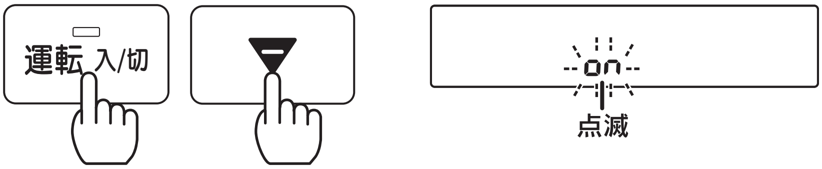
●リモコンのスイッチを押したときに鳴る音（操作音）の「on(あり)」、「oFF(なし)」を設定することができます。

〈防水形増設リモコン〉



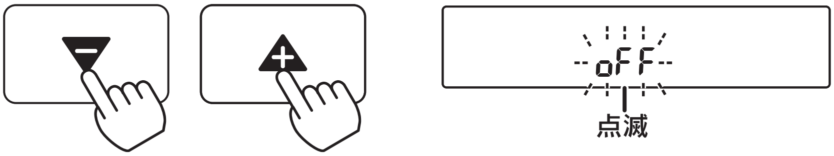
1 運転スイッチ[1]と給湯温度調節スイッチ[2]の▼を同時に約５秒間押す

防水形増設リモコン表示部



現在の設定が点滅します。

2 給湯温度調節スイッチ[2]を押して希望の内容を選択する



給湯温度調節スイッチ[2]を押すごとに「on ⇔ oFF」を交互に繰り返します。
（あり）（なし）

約40秒間操作しないときは設定内容が確定され通常の表示に戻ります。

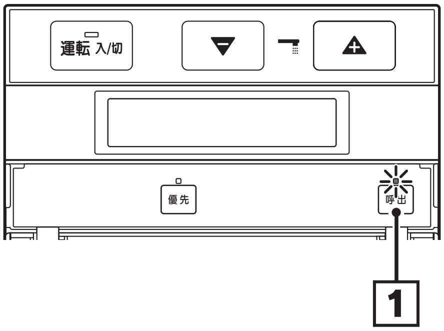
お知らせ

●運転スイッチの「**入・切**」に関係なく設定することができます。
●お買い求め時は「**on**（あり）」に設定されています。
●操作音を「**oFF**（なし）」に設定しても、給湯温度高温設定時の警告音・呼出音は消えません。

呼び出し

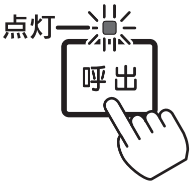
●浴室で必要な物があるときや気分が悪くなって人を呼びたいときなどに、防水形増設リモコンから台所リモコンの呼び出しを行うことができます。

〈防水形増設リモコン〉



1 ふたを開く

2 呼出スイッチ 1 を押す



台所リモコンの音声またはブザー音でお知らせします。

41 ページ

3 ふたを閉じる

お知らせ

●運転スイッチの「**入・切**」に関係なく呼び出しを行うことができます。
●台所リモコンの音声ガイド音量の設定が「**0（切）**」のときはブザーで呼び出しを行います。

バックアップ運転（停電時の操作）

●停電が発生したときに、バックアップ電源ユニットから出力されるインバーター電源（AC100V）の供給を受けて運転を行うことができます。

バックアップ運転中に制限されること

●eco機能
●ピークシフト運転
●凍結予防動作

バックアップ運転中にできること（制限される機能があります）

●給湯運転
●定量お知らせ機能
●時刻の設定
●ピークシフト時刻の設定
●ピークシフト運転の設定
●チャイルドロック機能
●リモコンの設定

バックアップ運転（停電時の操作）

10秒以上停電すると、給湯器の運転が停止してリモコンの表示画面が消灯します。
1分間以上経過した後バックアップ電源ユニットに接続しているリモコンで以下の操作を行ってください。

停電時の操作方法

1 運転スイッチを押して「入」にする

リモコンの運転ランプが点灯します。
約20秒間経過すると、リモコンの表示部が点灯して給湯器が使用できるようになります。

停電が復帰したとき

運転スイッチが「**入**」の状態で停電が復帰した場合

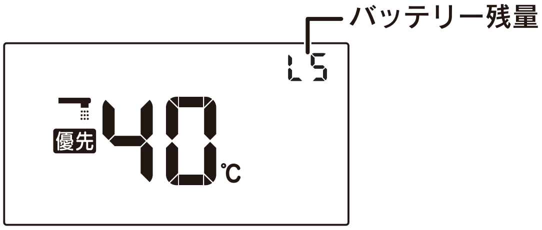
●自動的に通常運転（商用電源）に切換わり運転を継続します。

運転スイッチが「**切**」の状態で停電が復帰した場合

●自動的に通常運転（商用電源）に切換わりますが、給湯器を使用する場合はリモコンの運転スイッチを押して「**入**」にしてください。

お知らせ

●バックアップ運転中はリモコン表示画面にバッテリー残量が表示されます。



●バックアップ運転中にリモコンの運転スイッチを押して「**切**」にしてから約5秒後、または運転スイッチを押して「**入**」にしてから約10分間経過すると、バックアップ電源の電力消費を抑えるために自動で運転を停止します。
運転を再開するときは、再度「**停止時の操作**」を行ってください。
●バックアップ運転中は表示画面(部)省エネモードを「**4**」「**04**」に設定していても暗く点灯します。
●バックアップ運転時は凍結予防装置が作動しません。
凍結のおそれがあるときは、お湯の使用が終わりましたらリモコンの運転スイッチを押して「**切**」にし、凍結予防の「**機器内の水を抜く方法**」の「**2**」以外の処置を行ってください。57・58ページ

バックアップ電源ユニットに関する下記の内容は、バックアップ電源ユニット付属の取扱説明書を参照してください。
●使用開始前の準備と操作方法　●運転停止　●外部電源出力の方法
●停電時の動作　●エラーコードなど

ピークシフト運転 (別売の増設リモコンCMR-2501SVが必要です。)

●ピークシフト運転とは、お客様が設定した時間帯になると自動的にバックアップ電源ユニットからのインバーター電源に切換わり、運転を継続します。設定した時間帯を過ぎると、自動的に商用電源に切換わります。
●ピークシフト運転は給湯器の動作・機能制限はありません。ご家庭のコンセント使用時と同様に使用することができます。

運転の準備 (増設リモコンCMR-2501SVで設定します。)

・ピークシフト運転を行うためには、「**ピークシフト時刻の設定**」(開始時刻と終了時刻)と「**ピークシフト運転の設定**」を行う必要があります。
設定方法は増設リモコンCMR-2501SV付属の取扱説明書を参照してください。

お知らせ

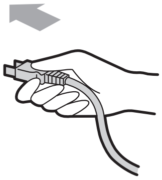
●現在時刻を設定していないときは、「**ピークシフト時刻の設定**」と「**ピークシフト運転の設定**」ができません。
●ピークシフト時間帯にリモコンの運転スイッチを「**切**」にすると、自動的に商用電源に切換わります。(ピークシフト時間帯に再度運転スイッチを押して「**入**」にすると、自動的にピークシフト運転に切換わります。)
●リモコンの運転スイッチが「**切**」のときは、ピークシフト時間帯になってもピークシフト運転に切換わりません。(ピークシフト時間帯に運転スイッチを押して「**入**」にすると、自動的にピークシフト運転に切換わります。)
●ピークシフト運転中にバックアップ電源ユニットのバッテリー電圧が低下すると、ピークシフト時間帯でも自動的に商用電源に切換わり、運転を継続します。
●ピークシフト運転中に停電を検知すると、停電時の動作に切換わります。
「**停電時の操作**」、バックアップ電源ユニット付属の取扱説明書を参照してください。54ページ

凍結予防

●冬期には急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがありますので、凍結予防の処置を行ってください。

凍結予防装置による方法(自動)

電源プラグの確認
(給水経路の凍結予防)

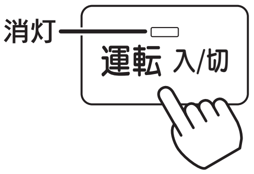


電源プラグをバックアップ電源ユニットのコンセントにしっかりと差し込んでおくことにより、凍結予防ヒータが作動して機器内の給水経路を保温します。

●冷え込みが厳しいときや、風が強いときは凍結予防装置だけでは効果がありませんので、「**じゃ口から水を流す方法**」または「**機器内の水を抜く方法**」の処置を行ってください。

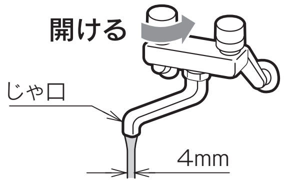
じゃ口から水を流す方法

1 運転スイッチを押して「切」にする



※運転スイッチが「入」のとき

2 給湯栓を開ける



２ハンドル混合水栓の湯側を開けて、じゃ口から毎分約400cc(約4mm)の水を流したままにします。シングルレバー混合水栓をお使いの場合は、レバーを湯側にして開けてください。

お知らせ

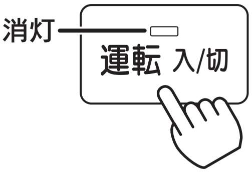
●機器だけでなく、配管やバルブなどの凍結予防にもなります。
●給湯栓からの流量が不安定なことがありますので、約30分後にもう一度確認してください。
●この機器には凍結予防装置が内蔵されていますので、電源プラグは抜かないでください。

機器内の水を抜く方法（凍結予防装置は作動しません）

⚠注意

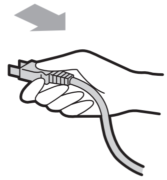
●機器内のお湯を排水するときはやけどに注意してください。熱湯が排水されることがあります。運転を停止し、機器が冷えてから排水してください。
●必ず操作の順序を守ってください。

1 運転スイッチを押して「切」にする

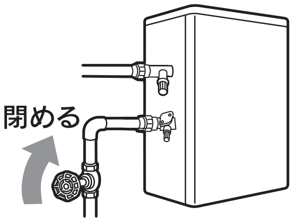


※運転スイッチが「入」のとき

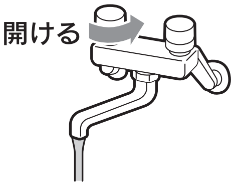
2 電源プラグを抜く



3 給水元栓を閉める

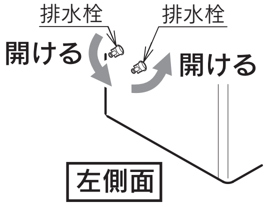


4 給湯栓を開ける
（機器からできるだけ離れた1箇所）



シングルレバー混合水栓をお使いの場合は、レバーを湯側にして開けてください。

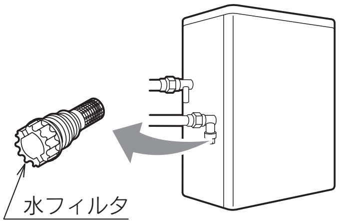
5 排水栓を開ける



排水栓を開けると、中央の穴から排水されます。機器内の残水や配管などの条件によって変わりますが、約2リットルの水が出ます。

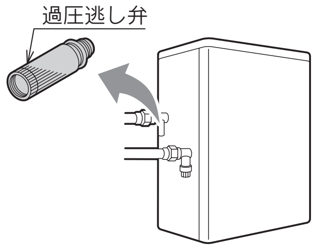
運転のしかた

6 水フィルタをはずす



水フィルタをはずすと機器内の残水や配管などの条件によって変わりますが、水が出ます。
はずした水フィルタは、次にお使いになるまではずしたままにしてください。水フィルタが固くて回らないときは、コインなどを水フィルタの溝に差し込んで回してください。

7 過圧逃し弁をはずす



過圧逃し弁をはずすと機器内の残水や配管などの条件によって変わりますが、水が出ます。
はずした過圧逃し弁は、次にお使いになるまではずしたままにしてください。
※過圧逃し弁はエアチャージ栓を兼ねています。

お知らせ

- 配管やバルブなどの凍結予防はできませんが、機器には最も適した方法です。
- はずした過圧逃し弁・エアチャージ栓・水フィルタなどは、紛失しないように注意してください。

運転開始時の注意

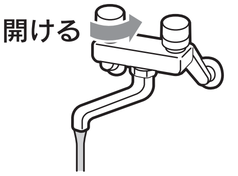
- 機器を運転する前には必ず排水栓(2箇所)を閉め、過圧逃し弁・水フィルタを元通りに取付け、給水元栓を開けてから水が出ることを確認してください。
  その後、「**使用前の準備**」と各リモコンの給湯運転に従って使用してください。確認せずに運転すると機器が破損することがあります。

11～55 ページ

- 氷点下で長時間置かれた状態からの運転時、まれにエラーコード「**651**」・「**661**」が表示されることがあります。そのようなときは、リモコンの運転スイッチを押して「**切**」にしてリセットしてください。

69～71 ページ

水が出ることを確認



- 機器からできるだけ離れた１箇所の給湯栓を開けて、水が出ることを確認してください。
- 水が出にくいときには凍結していることがありますので、水が正常に出るようになってから運転してください。

安全装置

安全装置	はたらき	装置が作動したあとは
対震自動消火装置（感 震 器）	地震や強い振動、衝撃を受けたときに作動して自動停止します。	周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、水漏れなど異常がないことを確認して、リセットしてください。リセットしても直らない場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。
燃 焼 制 御 装 置（制 御 基 板）	バーナーが着火ミス・失火・異常燃焼したときに作動して自動停止します。	作動原因を処置してリセットしてください。リセットしても直らない場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。
停 電 安 全 装 置	使用中に停電したり、給湯器の電源プラグが抜けたときに作動して自動停止します。	再通電後は運転停止状態になりますので、再使用時はリモコンの運転スイッチを押して「**入**」にしてください。

■リセット（警報解除）の方法

リモコンの運転スイッチを一度押して「**切**」にしてから再度押して「**入**」にします。

その他の装置

その他の装置	はたらき	装置が作動したあとは
異常過熱防止装置	サーミスタや燃焼制御装置(制御基板)の故障、空だきなどにより熱交換器が異常に過熱したときに作動して自動停止します。	給湯器の電源プラグをバックアップ電源ユニットのコンセントから抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。
温度ヒューズ（184℃）		
凍結予防装置	機器内の給水経路が凍結しないように凍結予防ヒータが自動的に作動して保温します。	機器を運転したときや凍結のおそれがなくなると自動的に停止します。
電流ヒューズ（10A）	万一内部配線のショートなどで過電流が流れたときに、ヒューズが切れて自動停止します。	給湯器の電源プラグをバックアップ電源ユニットのコンセントから抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。
送風機ヒューズ（3A）		
過圧逃し弁	熱交換器内の圧力が異常に上昇したときに作動して、圧力を外部に逃がして熱交換器を保護します。	給湯栓を閉めたときに少量の水が出ても故障ではありません。連続して出る場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。
中和器つまり検知装置	ドレン配管や中和器がつまり、ドレン水の排出ができなくなると、エラーコードを表示してお知らせします。	給湯器の電源プラグをバックアップ電源ユニットのコンセントから抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。
油切れ予告装置（別売部品）	油タンク内の灯油の残量が少なくなると、エラーコードを表示してお知らせします。	エラーコードを表示しても機器はしばらく運転しますが、すみやかに給油してください。

使用上の注意

⚠注意

排気部に注意

●燃焼中や消火直後の排気部は高温です。手など触れないように注意してください。やけどのおそれがあります。

高温注意

●シャワーを使用するときや入浴するときは、必ず手でお湯の温度を確かめてください。また、シャワーを使用中は使用者以外の人がお湯の温度を変更しないでください。やけどのおそれがあります。

安全装置が作動したときは

●安全装置が作動したときは、この取扱説明書に従って処置をしてください。
処置をしないで何度もリセットを繰り返さないでください。火災や事故の原因になります。

59 ページ

機器内のお湯（水）について

●機器内や配管内に長時間たまっていたお湯（水）は、使用水の水質・配管材料の劣化・水あかなどにより水質が変わることがあります。飲用または調理に使用しないでください。

油切れに注意

●油タンクを空にしないように注意してください。
何度も空運転すると、電磁ポンプの寿命が短くなります。
●別売の油切れ予告装置を取付けると、リモコンで給油のタイミングをお知らせします。

11 ページ

使用上の注意

日常の点検・手入れを行う

63・64ページ

停電後の使用方法

●そのままお使いください。停電復帰後は、自動的に通常運転（商用電源）に切換わります。

54 ページ

長期間使用しないとき

●長期間使用しないときは凍結予防の「**機器内の水を抜く方法**」に従って水抜きを行ってください。

57・58ページ

地震などの被害があったとき

●リモコンの運転スイッチを押して「**切**」にし、給湯器の電源プラグを抜いて使用を中止してください。機器の損傷を確認し、お買い求めの販売店にご連絡ください。

冬期に停電したとき

●停電およびバックアップ運転時は凍結予防装置は作動しません。給湯の使用が終わりましたらリモコンの運転スイッチを押して「**切**」にし、凍結予防の「**機器内の水を抜く方法**」の「**2**」を除いて凍結予防の処置を行ってください。

57・58ページ

日常の点検・手入れ

点検・手入れのときの注意

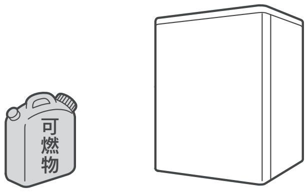
⚠注意

- 点検・手入れは必ず消火後、機器が冷えてから電源プラグを抜いて行ってください。
- 点検・手入れのときは金属部に充分注意してください。けがの原因になることがあります。
- 点検・手入れのときは手袋などの保護具を着用してください。
- 部品の分解・調整は絶対にしないでください。
- 異常があるときはお買い求めの販売店にご連絡ください。

点検・手入れの時期、必要項目、方法

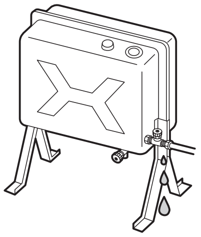
毎日

周囲の可燃物



機器・排気部・油タンクの上や周囲に可燃物や危険物がないことを確認してください。

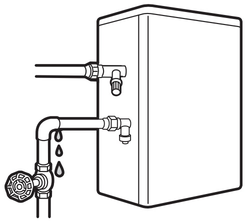
油漏れ、油のたまり、油のにじみ



機器や油タンクの送油経路、特に接続部などに油漏れ・油のたまり・油のにじみがないことを確認してください。

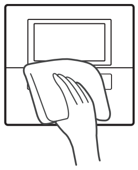
適時に

水漏れ



機器や配管などから水漏れしていないことを確認してください。

リモコン

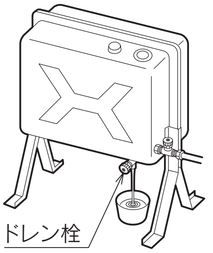


水や化学ぞうきんなどは使わず、柔らかい布でからぶきしてください。ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・ガラスクリーナーなどは使用しないでください。印刷や塗装のはがれ、傷の原因になります。

日常の点検・手入れ

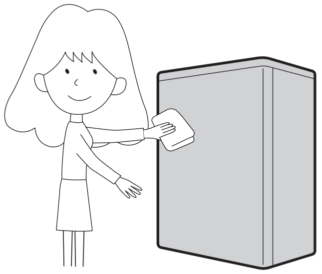
1年に1回以上

油タンク



油タンク内に空気中の水分が結露して水がたまりますので、タンクのドレン栓を開けて抜きとってください。ドレン栓の形状はタンクによって異なります。

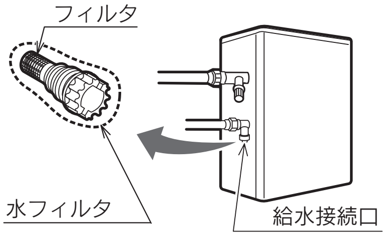
ほこり



機器外面のほこりや汚れは、布またはスポンジに中性洗剤をつけてふきとってください。手袋などをして行ってください。

水フィルタの掃除

配管内のゴミが水フィルタにたまるとお湯が出にくくなりますので、定期的に水フィルタを掃除してください。



1.給水元栓を閉め、水フィルタをはずします。機器内の残水や配管などの条件によって変わりますが、約2リットルの水が出ます。固くて回らないときは、コインなどを水フィルタの溝に差し込んで回してください。
2.水フィルタについているフィルタを掃除します。フィルタを変形させないようにしてください。
3.掃除後は水フィルタを取付け、給水元栓を開けた後、給湯栓を開け配管内の空気を抜いてください。

油タンク・油ストレーナの点検

油タンク・油ストレーナに水・ゴミ・錆がたまってないことの確認をお買い求めの販売店に依頼してください。

定期点検

●長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要になります。
●機器を安心して長くご使用いただくために、１年に１回程度は定期点検を受けることをおすすめします。
●定期点検はお買い求めの販売店にご相談ください。（定期点検は有料です。）

法定点検

●この機器は、消費生活用製品安全法により点検期間に法定点検(有料)を受けていただくことが求められています。(製品の所有者などの責務：消安法第32条の14)
●この機器の設計標準使用期間10年の前後それぞれ1年間(製造後9年から11年)を法定点検時期と設定しています。ご登録いただいた所有者情報に基づき、法定点検期間の直前に弊社より点検通知を送付いたしますので、**添付のはがき（所有者票）に必要事項をご記入のうえ、必ず返送してください。**
●詳しくは「**特定保守製品についての説明書**」をご覧ください。

故障・異常の見分けかたと処置方法

修理を依頼する前に

●次のような場合は故障ではありません。修理を依頼する前にもう一度確認してください。

給湯(シャワー)に関すること

現　　象	説　　　　明
給湯栓を開けてもお湯が出ない	・少流量では点火しないことがあります。給湯栓をもう少し開けて使用してください。 ・断水していませんか。 ・水フィルタや給湯栓のフィルタにゴミなどがつまっていませんか。掃除してください。 64ページ ・凍結していませんか。 ・リモコンの運転スイッチが「**切**」になっていませんか。
給湯栓を開けてもすぐにお湯が出ない	・機器から混合水栓までは距離があり、配管内には水が残っているため多少時間がかかります。
給湯温度調節スイッチを押しても給湯温度が変わらない	・リモコンの優先ランプ、「**優先**」が点灯していないと給湯温度の調節ができません。 24・46ページ
給湯温度・給湯量が不安定になる	・他の混合水栓を同時に使用するとお湯が熱くなったり、ぬるくなったり、給湯量が少なくなったりすることがあります。 ・水道の圧力や配管条件によっては給湯量が変わることがあります。
出湯量が少ない (音声リモコン)	・ecoスイッチを「**入**」にしていると、eco機能により出湯量が減ることがあります。
お湯が白く見える	・水中に溶けていた空気が分離して白く見えたり、小さな泡となって出てきたりするためです。
お湯の出が悪くなった	・水フィルタや給湯栓のフィルタにゴミなどがつまっていませんか。掃除してください。 64ページ
給湯運転時に点火・消火を繰り返す	・給湯温度を調節するために、点火・消火を繰り返し行うことがあります。

給湯器本体・リモコンに関すること

現　象	説　明
排気部から湯気が出る	・排ガスが水蒸気を多く含んでいるため、冷たい空気に触れて白く見えることがあります。
リモコンの運転ランプ、表示画面(部)が点灯しない	・リモコンの運転スイッチを押して「**入**」にすると表示画面(部)が点灯します。 ・機器の電源プラグを抜いていませんか。
リモコンの表面が熱く感じる	・使用中は表示画面(部)などが点灯していますので、リモコンの表面が熱く感じることがあります。
時刻表示が消えている	・停電などで電源が切れた後は時刻が消えることがありますので、再度時刻を設定してください。 18・19ページ
リモコンの表示画面(部)が暗い	・表示画面(部)省エネモードの設定が「**4**」(常にバックライトを消灯)または「**2**」(操作終了から約5分後にバックライトを消灯)に設定されているためです。 34・35・48・49ページ ・表示画面(部)明るさの設定が「**1**」(暗い)側に設定されているためです。 36・37・50・51ページ
リモコンの表示画面(部)が暗くならない	・表示画面(部)省エネモードの設定が「**3**」(常に設定した明るさで表示)に設定されているためです。 ・給湯温度が55℃以上に設定されているためです。 34・35・48・49ページ
過圧逃し弁からお湯(水)が出る	・熱交換器内の圧力が上がりすぎないように、上昇した圧力を逃がすためです。
ドレン水出口配管から水が出る	**【機器の使用中】** この機器は高効率型で、機器内で発生した凝縮水をドレン水出口配管、または排水用ホッパー配管から排水しています。(最大43ml/分) **【機器を使用していないとき】** お買い求めの販売店にご連絡ください。
リモコンの運転スイッチを押して「**切**」にしてもしばらくの間、送風機が回っている	・燃焼室内の排ガスを排出するためです。燃焼停止後90秒以内で停止します。
燃料切れをした後、給油しても点火しない	・燃料切れをした後、給油したときは送油経路の空気抜きを行わないと点火しません。油タンクに灯油があることを確認後、リセットしてください。 11ページ
使用中に消火した	・燃料切れをしていませんか。 ・断水していませんか。 ・少流量では点火しないことがあります。給湯栓をもう少し開けて使用してください。

故障・異常の見分けかたと処置方法

バックアップ電源ユニットに関すること

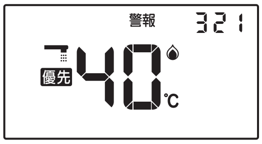
現　　象	説　　　明
停電時動作しない （給湯器）	・バックアップ電源ユニットの運転スイッチが「**入**」になっていますか。 運転スイッチが「**入**」になっていないと、給湯器電源出力コンセントにAC100Vは出力されません。
停電時動作しない （外部機器）	・バックアップ電源ユニットの運転スイッチと外部電源出力スイッチが「**入**」になっていますか。 どちらのスイッチも「**入**」になっていないと、外部電源出力コンセントにAC100Vは出力されません。
停電時動作しない （給湯器・外部機器）	・バッテリーの容量が減っていることが考えられます。 ・充電時間は充分経過しましたか。 ・バックアップ電源ユニットの電源プラグはご家庭のコンセント（商用電源）に差し込まれていますか。停電中は充電できません。

エラーコード一覧

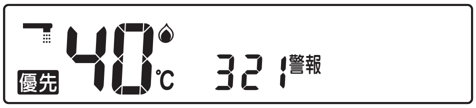
●エラーコードをリモコンの表示画面(部)に表示します。
●エラーコードが表示されたときは以下の処置を行ってください。
●確認・処置後リセットしても直らない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

●エラーコード表示例(警報・エラーコード・燃焼表示が点滅します。)

〈台所リモコン〉



〈防水形増設リモコン〉



給湯器本体に関すること

エラーコード	説　　明	確　認　・　処　置
100	対震自動消火装置作動	機器および周囲に異常がないことを確認後、リセットしてください。
111	着火ミス	油タンクに灯油があることを確認後、リセットしてください。 何度もリセットを繰り返すと危険です。 2、3回リセットしても直らない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。
121 510	途中失火	
130	再点火防止機能作動	お買い求めの販売店にご連絡ください。
140	温度ヒューズ断線	
150 160 590	異常過熱防止装置作動	
161	給湯温度異常	
170	バーナー温度異常	
290	中和器異常	
301	外気温サーミスタ異常 (警告表示)	お買い求めの販売店にご連絡ください。 凍結していない場合は運転できますが、点検・修理しないと凍結予防ができません。
311	給水サーミスタ異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。
321	給湯サーミスタ異常	
330	缶体出口サーミスタ異常	
331	缶体入口サーミスタ異常	
350	油サーミスタ異常	
470	バーナーサーミスタ異常	

故障・異常の見分けかたと処置方法

エラーコード	説　明	確　認　・　処　置
480	油切れ予告装置異常 **(警告表示)** 〔OC-5(別売部品)取付時〕	お買い求めの販売店にご連絡ください。 別売の「**油切れ予告装置(OC-5)**」を取付けていないのにエラーコード「**480**」が表示された時は設定を解除してください。 72ページ
550	ダンパーモータ異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。
611	送風機異常	
651	水比例弁異常(※1) **(警告表示)**	給湯器の電源プラグを差し直してください。
661	混合弁異常(※1)	
721	炎検出異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。
731 732 733	制御基板(記憶回路)異常	給湯器の電源プラグを差し直してください。
740 750 760	通信異常	
830	油切れ予告装置作動 **(警告表示)** (OC-31(別売部品)または OC-5(別売部品)取付時)	油タンクに給油してください。 11ページ
888	設計標準使用期間経過 **(警告表示)**	お早めに法定点検を受けてください。(※2) 「**888**」表示は運転スイッチを10秒間に5回以上押すことにより一時的に消すことができます。 (1年後に再表示します。) 連 絡 先：株式会社長府製作所 フリーコール 電話 0120-921-971 (通話料無料) 受付時間：(平日) 9：00～18：00 ※年末年始を除く
920	中和器寿命 **(警告表示)**	しばらくは使用できますが中和器の交換が必要です。 お早めにお買い求めの販売店にご連絡ください。
930	中和器寿命 **(機能停止)**	給湯器は使用できません。 お買い求めの販売店にご連絡ください。

※1…エラーコード「**651**」・「**661**」は機器に給水する前にリモコンの運転スイッチを押して「**入**」にすると表示されることがあります。機器内の水を抜いた後でエラーコードが表示されたときは、機器に給水し給湯栓を開け水が出ることを確認してからリセットしてください。

※2…法定点検の詳細は、別紙の「**特定保守製品についての説明書**」を参照してください。

■リセット(警報解除)の方法

リモコンの運転スイッチを一度押して「**切**」にしてから再度押して「**入**」にします。

■警告表示について

エラーコードが表示されても機器は使用できますが、すみやかに確認・処置を行ってください。

バックアップ電源ユニットに関すること

エラーコード	説　明	確　認　・　処　置
300	サーミスタ異常 （**警告表示**）	お買い求めの販売店にご連絡ください。
730	制御基板（記憶回路）異常	バックアップ電源ユニットをリセットしてください。
740 750 760	通信異常	
770	制御基板 （インバーター回路）異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。
780	バッテリー電圧低下	接続した機器の使用を中止し、バッテリーに充電を行ってください。表示が消えない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。
790	給湯器通信異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。

■リセット（警報解除）の方法

バックアップ電源ユニットの運転スイッチを一度押して「**切**」にしてから再度押して「**入**」にします。

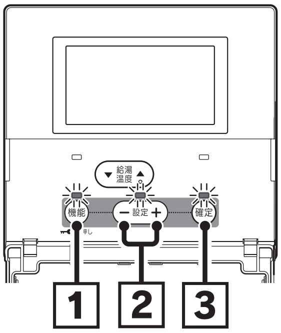
■警告表示について

エラーコードが表示されてもバックアップ電源ユニットは使用できますが、すみやかに確認・処置を行ってください。

故障・異常の見分けかたと処置方法

油切れ予告装置異常「480」が表示されたときの解除方法

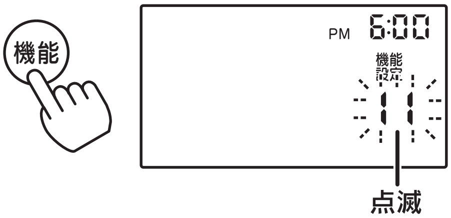
〈台所リモコン〉



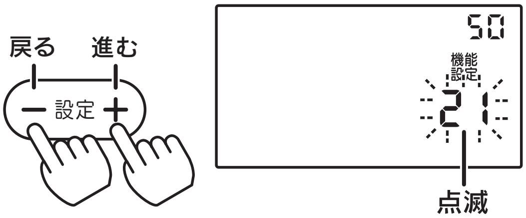
1 ふたを開く	
2 機能スイッチ 1を押す	**3** 設定スイッチ2を押して機能設定番号を「21」にする
4 確定スイッチ3を押す	**5** 設定スイッチ2を押して「oFF」にする
6 確定スイッチを3押す	**7** ふたを閉じる

2 機能スイッチ 1を押す

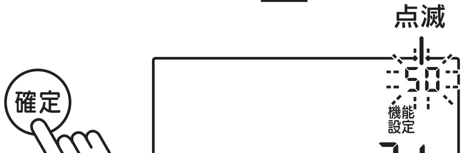
台所リモコン表示画面



3 設定スイッチ2を押して機能設定番号を「21」にする

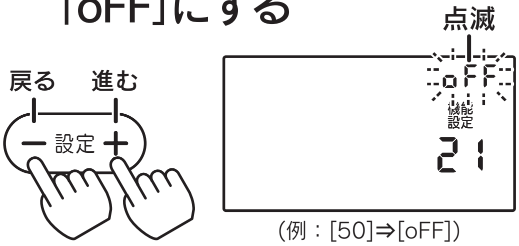


4 確定スイッチ3を押す



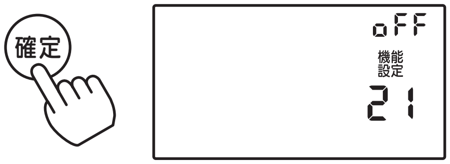
現在の設定(cm)が点滅します。

5 設定スイッチ2を押して「oFF」にする



(例：[50]⇒[oFF])

6 確定スイッチを3押す



7 ふたを閉じる

お知らせ

●リモコンの運転スイッチの「**入・切**」に関係なく設定(解除)することができます。

部品交換について

部品交換が必要になったときは、お買い求めの販売店に依頼してください。

- 部品は必ず**当社純正部品**を使用してください。
- 故障したまま使用しないでください。
- 故障して修理が必要なときは、お買い求めの販売店に依頼してください。

中和器について

- 中和器の寿命が近づくとエラーコード「920」を表示し、中和器の交換時期をお知らせします。
- 中和器の寿命が過ぎるとエラーコード「930」を表示し、運転を停止します。
  中和器を交換しないと運転できません。お買い求めの販売店に依頼してください。
  同時に機器の点検をおすすめします。

別売部品について

油切れ予告装置（OC-5・OC-31）

- この機器には油切れ予告装置を取付けることができます。
  取付けはお買い求めの販売店にご相談ください。

仕　様

型名	EHIF-4765DS-1
型式の呼び	EHIF-476
種類	圧力噴霧式・水道直結式・瞬間形・屋外用開放形
点火方式	高圧放電式
最低作動水量	2.5±0.5L/min
使用燃料	灯油(JIS1号灯油)
燃料消費量	48.9kW(4.75L/h)
連続給湯効率	95.0%
連続給湯出力	46.5kW(40,000kcal/h)
停電時給湯可能量	720L以上(給水温度15℃、出湯温度40℃)
熱交換器容量	1.7L(主熱交：1.0L　補助熱交：0.7L)
使用圧力(最高使用圧力)	1.0MPa(10kgf/cm^2)
伝熱面積	0.71m^2(主熱交：0.33m^2　補助熱交：0.38m^2)
外形寸法	高さ895mm　幅595mm　奥行248mm
質量(満水時)	41kg(43kg)
電源電圧及び周波数	100V　50/60Hz
定格消費電力	点火時115/110W　燃焼時95/90W
待機時消費電力	2.3W
排気温度	260℃以下
騒音レベル	45dB(A)
ノズル　噴霧量	1.45GPHリターンノズル
ノズル　スプレーパターン	エバーロイ社のセミフォロー
ノズル　噴霧角度	70度
電流ヒューズ	10A
送風機ヒューズ	3A
温度ヒューズ	184℃
安全装置	対震自動消火装置・燃焼制御装置・停電安全装置
その他の装置	異常過熱防止装置・温度ヒューズ・凍結予防装置 電流ヒューズ・送風機ヒューズ・過圧逃し弁・中和器つまり検知装置 油切れ予告装置(別売部品)
付属品	給水口保温材・出湯口保温材・送油管・転倒防止金具・バックアップ電源ユニット リモコンセット・取扱説明書(保証書付)・工事説明書・所有者票袋
別売部品	増設リモコン・防水形増設リモコンセット・リモコンコード リモコンパイプセット・転倒防止金具延長アダプタ・油切れ予告装置
区分名(省エネ法)	A
エネルギー消費効率	95.0%

アフターサービス

修理を依頼するとき

修理を依頼する前に66～72ページの「**故障 ・ 異常の見分けかたと処置方法**」の項を見て、もう一度確認してください。不具合があるときはお客様ご自身で修理せず、必ず給湯器の電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店にご連絡ください。

●アフターサービスをお申しつけいただくときは、次のことをお知らせください。

1．品　　　名……石油瞬間給湯器
2．型　　　名……機器の前パネルに貼ってあるシールに記載されています。

EHIF-4765DS-1

9 ページ

3．お買い上げ年月日
4．故障の状況……できるだけ詳しく
5．ご住所、お名前、電話番号
6．訪問ご希望日

保証・修理について

この機器には「保証書」がついています（巻末）

●正常な使用状態において故障した場合は、保証書の規定に従って修理いたします。
お買い求めの販売店にご連絡ください。
●保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご連絡ください。
●家庭用の給湯以外の特殊な使用方法での不具合発生につきましては、保証の対象外となりますのでご注意ください。
●凍結や析出物(炭酸カルシウムなど)による故障の場合は、保証期間内でも有料になります。

補修用性能部品について

補修用性能部品の保有期間は、この製品の製造打ち切り後11年です

●性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。

据付け

据付工事は販売店に依頼する

●据付けや移動工事はお買い求めの販売店または据付業者に依頼し、お客様ご自身で行わないでください。

据付場所の選定および標準据付例

●据付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。
工事説明書の「**特に注意していただきたいこと**」をお読みになり、お買い求めの販売店または据付業者とよくご相談ください。
また、「**標準据付例**」については工事説明書を参照してください。

騒音防止について

●設置場所の選び方次第で騒音は大きく変わります。
騒音公害とならないよう充分配慮して設置場所を選定してください。

転居または機器を移設するとき

●転居するときはお買い求めの販売店にご相談ください。
●移設はお買い求めの販売店に依頼し、お客様ご自身で行わないでください。

据付け後の確認

●据付けが終わりましたら、もう一度、工事説明書の「**特に注意していただきたいこと**」をお読みになり、工事説明書に記載されている通りに据付けられていることを確認してください。

試運転（試運転はお買い求めの販売店または据付業者とご一緒に必ず行ってください。）

運転準備

準備内容（確認事項）	チェック
1. 油タンクに灯油が入っており、送油経路の空気抜きができていますか。	
2. 油タンクや送油管（屋外は銅パイプ）の接続部から油漏れはありませんか。	
3. 送油管が逆Ｕ字型になっていませんか。	
4. 給水元栓を開け、給湯栓を開けると水が出ますか。	
5. 機器や配管から水漏れはありませんか。	
6. 給湯器通信線は、バックアップ電源ユニットの給湯器通信線接続コネクタと給湯器のリモコン端子台に接続されていますか。	
7. 停電時に操作するリモコンのリモコンコードは、バックアップ電源ユニットのリモコンケーブル接続端子台に接続されていますか。	
8. 残りのリモコンのリモコンコードは、給湯器のリモコン端子台に接続されていますか。	
9. 給湯器の電源プラグは、バックアップ電源ユニットの給湯器電源出力コンセントに差し込まれていますか。	

運転

１.運転開始手順
リモコンの運転スイッチを押して「**入**」にしてください。運転ランプが点灯します。
優先ランプ、「**優先**」が点灯したリモコンの給湯温度調節スイッチでご希望の温度に調節し、給湯栓を開けてください。

２.初期運転時の異常現象
運転開始時に電磁ポンプから「**ビービー**」という音が出ますが、しばらくすると静かになり、燃焼を始めます。

３.正常運転のめやす
給湯栓を開けると、バーナーが点火し燃焼表示が点灯します。
給湯温度の調節ができること、排気部からススや煙が出ていないこと、異音がしていないことを確認してください。

４.停止
給湯栓を閉めるとバーナーが停止して、燃焼表示が消灯します。
リモコンの運転スイッチを押して「**切**」にしてください。

据付け

お知らせ

●バックアップ電源ユニットの試運転はバックアップ電源ユニット付属の取扱説明書の「**据付け**」の「**試運転**」に従い行ってください。
●試運転時は内部の防錆油が燃える（気化する）ため、煙や臭いが出ることがありますが、しばらく燃焼すると防錆油が燃える煙や臭いは出なくなります。
●リモコンの表示画面（部）にエラーコードが表示されてバーナーが停止したときは、エラーコードを参照して確認・処置してください。

長府石油瞬間給湯器(直圧)保証書(販売店様控)

型　名	EHIF-4765DS-1
★製造番号	No.
保証期間	1　年

★お買い上げ日	年　月　日
★お客様	ご住所 お名前　様 電話　(　)
★販売店	住所・店名 ㊞ 電話　(　)

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

-販売店様へお願い-

(1) 本保証書(販売店様控)及び次のページの保証書(お客様控)の★印欄に必ず必要事項をご記入の上、本保証書は切り取り線より切り取り保管し、次のページの保証書(お客様控)は本取扱説明書とともにお客様にお渡しください。
※カーボン紙を差し込んで次のページに複写してください。

(2) 本保証書に記載したお客様の個人情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のため以外には使用しないでください。

修理メモ

△切り取り線▽

株式会社 長府製作所　〒752-8555　山口県下関市長府扇町2-1　☎(083)248-1111

長府石油瞬間給湯器(直圧)保証書(お客様控)

型　　名	EHIF-4765DS-1
★製造番号	No.
保証期間	1　年

本書は当製品に故障が発生した場合、お買い上げ日より向こう一年間、本書記載内容に従って、無料修理をお約束するものです。修理を依頼される場合は、お買い求めの販売店に必ず本書をご提示ください。

★お買い上げ日	年　　月　　日
★お　客　様	ご住所 お名前　　様 電話　(　　)
★販　売　店	住所・店名　　㊞ 電話　(　　)

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、当製品を無料で修理致します。お買い求めの販売店にご相談ください。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い求めの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は、事前にお買い求めの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で、本保証書に記入してあるお買い求めの販売店に修理がご依頼できない場合には、裏面記載のフリーダイヤルまでご連絡ください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
7. 本書の提示がない場合、または必要事項の記載がない場合、字句を書き換えられた場合は有料修理になります。

●次の場合は保証期間内でも有料修理になります。

(1) 住宅用途以外で使用した場合の不具合
(2) 使用者が適切な使用、維持管理等を行わなかったことに起因する不具合
(3) 一般家庭用以外に使用したことに起因する不具合
(4) 専門業者以外による修理、改造等に起因する不具合
(5) 弊社が定める工事説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解等に起因する不具合
(6) 建築躯体の変形等、住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせ等の経年変化、または使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
(7) 海岸付近、温泉地等の地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
(8) 動物や昆虫等の行為、及び植物の侵入等に起因する不具合
(9) 火災・爆発・凍結等の事故、台風・落雷・地震・噴火・洪水・津波等の天変地異、または戦争・暴動等の破壊行為による不具合
(10) 消耗部品の消耗に起因する不具合
(11) 給水・給湯・ふろ・暖房配管等の錆や異物流入に起因する不具合
(12) 地下水・井戸水・温泉水等を給水したことに起因する不具合
(13) 公害による不具合
(14) 電気・水・燃料等の供給トラブルに起因する不具合
(15) 指定規格以外の電気・燃料・熱媒等を使用したことに起因する不具合

修理メモ

●お客様へ

1. この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2. 保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い求めの販売店、またはフリーダイヤルまでご連絡ください。
3. お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動、及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

株式会社 **長府製作所**　〒752-8555　山口県下関市長府扇町2-1　☎(083)248-1111

おぼえがき

お買い上げ日	年　　月　　日	
販 売 店 名		
	電話番号	

●記入しておくと修理などの依頼のときに便利です。

一般のお客様からのお問い合わせは、フリーダイヤルへ	0120-925-339 携帯電話からは 0570-666-339 （通話料金がかかります）

お客様から取得いたしました個人情報は、お客様へのお問い合わせ対応を目的として利用し、適切に管理します。修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。

※電話番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようにお願いします。

修理に関するお問い合わせ　24時間365日受付

商品に関するお問い合わせ　平日　8:00～19:00
土日祝　8:00～17:00

愛情点検

長年ご使用の石油給湯器の点検を！

こんな症状はありませんか？

- ●水漏れ・油漏れがある。
- ●煙が出たり、強い臭いがする。
- ●運転中にこげくさい臭いがする。
- ●異常な音や振動がする。
- ●その他の異常や故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検・修理を依頼してください。

住宅設備機器総合メーカー
株式会社 長府製作所
CHOFU 長府製作所
本社　〒752-8555　山口県下関市長府扇町2-1